

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年2月28日  
九州運輸局

評価対象事業名： 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
福岡県バス対策協議会	堀川バス(株)	羽犬塚～ゆめタウン前～福島～黒木	少子高齢化等により利用者は減少傾向にあるが、利用促進を図ることで利用者減少に歯止めをかけたい。目標数値は、H28の実績と同程度の数値を設定した。	A	B	八女市内全域で運行しているドアツードア型のデマンド交通「ふる里タクシー」の運行により、引きこもりがちな高齢者に外出機会を与え、路線バスとの連携強化により利用増につなげたい。また、H27年度から八女市で実施している「路線バス通学定期券補助事業」で、学生の路線バス利用を促進したい。あわせて、市広報誌等による啓発活動や地域と連携した利用促進活動に取り組む。	高齢者の移動手段の確保は、高齢者の社会参加、社会保障関係費の抑制等、福祉分野の施策にも繋がるため、事業者と関係自治体と連携し取り組むと共に、学生の利用促進策、地域内交通との連携と併せて、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	堀川バス(株)	羽犬塚～蒲原～黒木～柴庵	少子高齢化等により利用者は減少傾向にあるが、利用促進を図ることで利用者減少に歯止めをかけたい。目標数値は、H28の実績と同程度の数値を設定した。	A	B	八女市内全域で運行しているドアツードア型のデマンド交通「ふる里タクシー」の運行により、引きこもりがちな高齢者に外出機会を与え、路線バスとの連携強化により利用増につなげたい。また、H27年度から八女市で実施している「路線バス通学定期券補助事業」で、学生の路線バス利用を促進したい。あわせて、市広報誌等による啓発活動や地域と連携した利用促進活動に取り組む。	高齢者の移動手段の確保は、高齢者の社会参加、社会保障関係費の抑制等、福祉分野の施策にも繋がるため、事業者と関係自治体と連携し取り組むと共に、学生の利用促進策、地域内交通との連携と併せて、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	堀川バス(株)	福島～鱒水・西鉄久留米～久留米駅	利用者は近年横ばいから微減の傾向にあるため、利用促進を図ることで27年度(71%)と同程度の収支率を目標に設定した。	A	B	広報等による継続した利用促進を地域、関係市町と実施する。久留米市では独自に時刻表を作成し、沿線の住民に全戸配布を行う。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
福岡県バス対策協議会	堀川バス(株)	福島～田ノ原～十 筈車庫前	少子高齢化等により利用者は減少傾向にあるが、利用促進を図ることで利用者減少に歯止めをかけたい。目標数値は、H28の実績と同程度の数値を設定した。	A	B	八女市内全域で運行しているドアツードア型のデマンド交通「ふる里タクシー」の運行により、引きこもりがちな高齢者に外出機会を与え、路線バスとの連携強化により利用増につなげたい。また、H27年度から八女市で実施している「路線バス通学定期券補助事業」で、学生の路線バス利用を促進したい。あわせて、市広報誌等による啓発活動や地域と連携した利用促進活動に取り組む。	高齢者の移動手段の確保は、高齢者の社会参加、社会保障関係費の抑制等、福祉分野の施策にも繋がるため、事業者と関係自治体と連携し取り組むと共に、学生の利用促進策、地域内交通との連携と併せて、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	堀川バス(株)	JR瀬高駅前～西鉄柳川駅～保養センター前	利用者は近年横ばい傾向である。今後路線を維持していくために事業者と関係市で協議を行った。また、沿線付近の小学生を対象としたバス乗り方教室を開催した。	A	B	利用者の声を把握し、他の公共交通機関との接続や利用しやすいダイヤを検討していく。また、関係市と連携して街頭啓発や広報紙掲載等を行うなど、利用促進を図る。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、他の交通機関との接続強化と路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	昭和自動車(株)	前原～前原駅前・加布里～芥屋	定額200円均一を実施して以降順調な輸送人員増が近年頭打ちにある傾向であるが、収支改善努力目標数値として昨年と同じ目標収支率を設定した。	A	B	路線沿線にあるカキ小屋との連携乗車券が好調であり、また、毎年夏に多数バス利用がある海水浴場と何かしらのタイアップができないか検討中である。生産性向上の取組みを中心に沿線住民の意見も取り入れながら収支改善策を講じていく。	路線沿線の観光施設とのタイアップによるシーズン毎の観光需要の取込は、幹線系統の維持にとって大変有効である。自治体との連携等によりPR強化を行い、更なる需要喚起に取り組むことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	昭和自動車(株)	前原～師吉公民館前・初～船越	定額200円均一を実施して以降順調な輸送人員増が近年頭打ちにある傾向であるが、収支改善努力目標数値として昨年と同じ目標収支率を設定した。	A	C	路線沿線にあるカキ小屋との連携乗車券が好調であるので、更に周知・PRを行い収支改善に繋げていきたい。また、効率的な運行経路、形態にすべく沿線住民の意見も取り入れながら検討していく。	路線沿線の観光施設とのタイアップによる観光需要の取込は、幹線系統の維持にとって大変有効である。自治体との連携等によりPR強化を行い、更なる需要喚起に取り組むことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	昭和自動車(株)	前原～師吉公民館前・初～谷	定額200円均一を実施して以降順調な輸送人員増が近年頭打ちにある傾向であるが、収支改善努力目標数値として昨年と同じ目標収支率を設定した。	A	C	本路線沿線の野北地区が若者に人気のある観光地となっており、利用者も伸びているので、生産性向上の取組みの一環として何かしらのアクションを起こしていきたい。	路線沿線の観光施設とのタイアップによる観光需要の取込は、幹線系統の維持にとって大変有効である。自治体との連携等によりPR強化を行い、更なる需要喚起に取り組むことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
福岡県バス対策協議会	西鉄バス佐賀(株)	JR久留米～久留米警察署～西鉄鳥栖	利用者は近年横ばいから微増の傾向にあるため、利用促進を図ることで27年度(74%)と同程度の収支率を目標に設定した。	A	A	広報等による継続した利用促進を地域、鳥栖市と実施するほか、久留米市では独自に時刻表を作成し、沿線の住民に全戸配布を行う。鳥栖市では交通事業者と連携し、バスの乗り方教室等利用促進を進めていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス佐賀(株)	鳥栖駅～綾部・国立東佐賀病院前～西鉄久留米	利用者は近年横ばいから微減の傾向にあるため、利用促進を図ることで27年度(43%)と同程度の収支率を目標に設定した。	A	A	広報等による継続した利用促進を地域、鳥栖市およびみやき町と実施するほか、久留米市では独自に時刻表を作成し、沿線の住民に全戸配布を行う。鳥栖市では交通事業者と連携し、バスの乗り方教室等利用促進を進めていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス久留米(株)	早津江～布橋～西鉄柳川	利用者は増加傾向にあるが、収支率が達成できていない状況から、今後も同様に利用促進を図ることで、前年度の目標と同程度の収支率を設定した。	A	A	利用状況の把握に努めるとともに、関係市と連携した街頭啓発や広報誌掲載、地元会合へのチラシ配布等の実施により、さらなる利用促進を図る。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス久留米(株)	大野島農協前～堤・筑後市立病院～羽犬塚駅前	利用者は微増傾向にあるが、収支率が達成できていない状況から、今後も同様に利用促進を図ることで、前年度の目標と同程度の収支率を設定した。	A	B	利用状況の把握に努めるとともに、関係市と連携した街頭啓発や広報誌掲載、地元会合へのチラシ配布等の実施により、さらなる利用促進を図る。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス久留米(株)	大川橋～下林・大善寺～JR久留米	利用者は近年減少傾向にあったが、平成29年度は増加した(4.4%増)。利用促進を図ることで27年度(57%)と同程度の収支率を目標に設定した。	A	B	広報等による継続した利用促進を地域、大川市と協力して実施するほか、大善寺線の時刻表を沿線住民に配布するなど、久留米市城島地域に導入したフィーダー系統路線と併せて利用促進策を実施する。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、他の交通機関との接続強化と路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス久留米(株)	両筑苑前～北野～JR久留米	利用者は近年増加傾向が続いており、今後も同様に利用促進を図ることで27年度(77%)と同程度の収支率を目標に設定した。	A	A	広報等による継続した利用促進を地域と協力して実施するほか、北野線の時刻表を沿線住民に配布するなど、フィーダー系統路線と併せて利用促進策を実施する。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
福岡県バス対策協議会	西鉄バス久留米(株)	上原～草野駅前～JR久留米	利用者は近年微増の傾向となっており、今後も利用促進を図ることで27年度(71%)と同程度の収支率を目標に設定した。	A	A	路線の延伸により酒蔵など観光スポットへの乗り入れも開始したこともあり、継続して観光イベントと連携した利用促進活動を地域と協力して実施する。また、時刻表を沿線住民に配布することで利用促進を図っていく。	路線沿線の観光施設とのタイアップによる観光需要の取込は、幹線系統の維持にとって大変有効である。自治体との連携等によりPR強化を行い、更なる需要喚起に取り組むことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス久留米(株)	上原～草野駅前～西鉄久留米	利用者は近年微増の傾向となっており、今後も利用促進を図ることで27年度(80%)と同程度の収支率を目標に設定した。	A	C	路線の延伸により酒蔵など観光スポットへの乗り入れも開始したこともあり、継続して観光イベントと連携した利用促進活動を地域と協力して実施する。また、時刻表を沿線住民に配布することで利用促進を図っていく。	路線沿線の観光施設とのタイアップによる観光需要の取込は、幹線系統の維持にとって大変有効である。自治体との連携等によりPR強化を行い、更なる需要喚起に取り組むことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	新飯塚～赤池工業団地	利用促進のため、広報誌への掲載、商業施設でのチラシの手配り等の啓発・利用促進を行った。	A	A	収支率を維持できるよう、より効率的な運用を目指す。また利用者の維持のため、啓発活動を行う。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	新飯塚～毛勝	利用促進のため、広報誌への掲載、商業施設でのチラシの手配り等の啓発・利用促進を行った。	A	A	収支率を維持できるよう、より効率的な運用を目指す。また利用者の維持のため、啓発活動を行う。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	直方～高六・グローバルアリーナ～赤間営業所	沿線自治体の広報誌等で啓発を行った。	A	A	接続するフィーダー系統の利用促進、路線の広報等、各市町単独ではなく、関係市町で一体となり、利用促進策を検討する。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、他の交通機関との接続強化と路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	直方～京の上・鞍手車庫～遠賀川駅	沿線自治体の広報誌等で啓発を行った。	A	B	接続するフィーダー系統の利用促進、路線の広報等、各市町単独ではなく、関係市町で一体となり、利用者減少の詳細要因を分析し、利用促進策を検討する。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、地域内系統との接続強化と路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	直方～新入本村・鞍手車庫～遠賀川駅	沿線自治体の広報誌等で啓発を行った。	A	A	接続するフィーダー系統の利用促進、路線の広報等、各市町単独ではなく、関係市町で一体となり、利用促進策を検討する。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、地域内系統との接続強化と路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	西鉄後藤寺～夏吉～金田駅	目標収支率の達成に向け、広報紙等を活用した利用促進PRを行った。また広くバス利用を促すため本市イベント時にも利用促進PR活動を行った。	A	B	①チラシ配布や広報紙、HP等に当該路線が補助路線であり、沿線住民の利用促進が不可欠である旨の啓発を行う。 ②JR等の他公共交通機関との連携を強化し、乗継改善等を図る。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、他の交通機関との接続強化と路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	真岡～後藤寺・メルクス～金田平原団地	目標収支率の達成に向け、広報紙等を活用した利用促進PRを行った。また広くバス利用を促すため本市イベント時にも利用促進PR活動を行った。	A	C	①チラシ配布や広報紙やHP、等に当該路線が補助路線であり、沿線住民の利用促進が不可欠である旨の啓発を行う。 ②JR等の他公共交通機関との連携を強化し、乗継改善等を図る。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、他の交通機関との接続強化と路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	宮若市役所～直方	HP・広報誌等の媒体を活用しながら周知を図り、利用促進を行った。	A	B	利用実態の把握に努め、今後もHP・広報誌等の媒体を活用しながら周知を図り、利用促進に努める。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	西鉄大隈～漆生～飯塚	公共交通の利用促進を図るため、各団体の広報誌、ホームページ等で広報を行った。	A	B	公共交通の利用促進を図るため、各団体の広報誌、ホームページ等で広報を行い、利用実態に応じた運行ダイヤの検討を行う。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	西鉄大隈～桂川駅～飯塚	公共交通の利用促進を図るため、各団体の広報誌、ホームページ等で広報を行った。	A	B	公共交通の利用促進を図るため、各団体の広報誌、ホームページ等で広報を行い、利用実態に応じた運行ダイヤの検討を行う。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	山野社宅～上三緒～飯塚	公共交通の利用促進を図るため、各団体の広報誌、ホームページ等で広報を行った。	A	C	公共交通の利用促進を図るため、各団体の広報誌、ホームページ等で広報を行い、利用実態に応じた運行ダイヤの検討を行う。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	西鉄後藤寺～砂津	県内一斉キャンペーンに合わせて街頭啓発を行なった。	A	C	新規顧客獲得や現利用者の利用機会を増やすため、今後も広報活動に努めるとともに、広域で連携した取り組みも模索していきたい。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	西鉄後藤寺～川崎～めんべい添田工場	イベント等でのバス乗車の啓発活動、グッズの配布等を行った。	A	C	今後は、利用チラン等を関係市町村・事業者と配布し利用促進を図り、収支率の改善を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス筑豊(株)	宮田～鞍手中中学校前～鞍手駅	利用促進を図るためにバスガイドを全戸配布したほか、公共施設や医療機関、金融機関等に配布した	A	B	中学生利用者減少の要因を分析し、路線やダイヤの見直しを検討する。併せて利用促進策を検討するとともに、バスガイドの配布等広報も引き続き実施する	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス宗像(株)	東郷駅～波止場・東町～光陽台6丁目	県内一斉キャンペーンの中で公共交通での世界遺産訪問の呼掛けを行った。	A	C	利用実態の把握に努め、引き続き観光利用も含めた利用促進に向けたPRを継続する。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス宗像(株)	東郷駅～宗像大社～神湊波止場	経路上にある宗像大社が世界遺産として登録されたことから利用が増加しているが、観光地の魅力の発信を継続して行った。また、路線全体の利用促進のため、広報紙による啓発と市内のイベントに参加して来場者へのPRを行った。	A	A	観光部門と協力して世界遺産としての魅力の発信に力を入れるとともに、地方創生市町村圏域会議等でも利用促進策を検討しながら広報紙やイベントを活用した利用促進に取り組む。	路線沿線の観光施設とのタイアップによる観光需要の取込は、幹線系統の維持にとって大変有効である。自治体との連携等によりPR強化を行い、更なる需要喚起に取り組むことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
福岡県バス対策協議会	西鉄バス宗像(株)	鐘崎車庫～宗像コ モン・東郷～東郷駅	運行効率向上のため、利用 が少ない昼間の時間の減便 を行うとともに、路線全体の 利用促進のため、広報紙に よる啓発と市内のイベントに 参加して来場者へのPRを 行った。	A	A	地方創生市町村圏域会議等でも利用 促進策を検討しながら広報紙やイベ ントを活用した利用促進に取り組む。	引き続き地域住民の利用実態、要望 等の把握に努め、観光需要の取込も 検討しながら、路線の特性を踏まえた ターゲットに合った利用促進策によ り、効果的・効率的な運行に繋げてい くことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス宗像(株)	鐘崎車庫～ネオポ リス・宗寿園～赤間 営業所	運行効率向上のため、利用 が少ない昼間の時間の減便 を行うとともに、路線全体の 利用促進のため、広報紙に よる啓発と市内のイベントに 参加して来場者へのPRを 行った。	A	A	地方創生市町村圏域会議等でも利用 促進策を検討しながら広報紙やイベ ントを活用した利用促進に取り組む。	引き続き地域住民の利用実態、要望 等の把握に努め、観光需要の取込も 検討しながら、路線の特性を踏まえた ターゲットに合った利用促進策によ り、効果的・効率的な運行に繋げてい くことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス大牟田 (株)	西鉄大牟田営業所 ～総合病院・上町 ～庄山	・市報やポスティングで行き 届いた利用促進を行った。 ・利用者のニーズにあった運 行に向け、移動に関する現 状調査と利用者へのアン ケート調査を実施し、利用実 態と利用者の要望を把握し た。	A	C	今後、把握したデータを基に利用実態 や利用者ニーズに合った運行を目指 すとともに、効果的な利用促進を行 い、利用者拡大に努める。	引き続き地域住民の利用実態、要望 等の把握に努め、路線の特性を踏ま えたターゲットに合った利用促進策に より、効果的・効率的な運行に繋げて いくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス大牟田 (株)	西鉄大牟田営業所 ～総合病院・新大 牟田駅～南関	・継続して利用促進を実施	A	A	利用状況の把握は行っているが、収 支改善の要因分析は行えていないた め、今後、検討を行い、他の系統で効 果が見込まれる取組について、導入 を図る。	引き続き地域住民の利用実態、要望 等の把握に努め、好事例の活用も含 め、活用路線の特性を踏まえたター ゲットに合った利用促進策により、効 果的・効率的な運行に繋げていくこ とが望ましい。
福岡県バス対策協議会	西鉄バス北九州 (株)	香月営業所～烏 森・JR中間駅～筑 鉄中間	公共交通の利用者の現状を 把握するために実施した市 民アンケート調査の結果等を 事業者と情報共有するとと もに、公共交通マップを作成 し、公共交通に対する市民意 識の向上に取組んだ。	A	A	公共交通に対する市民意識の向上に 取組むため、路線バス沿線住民を対 象に時刻表や路線図を配布すると もに路線バス利用を考えてもらうよ うなアンケート調査などを実施し、路線 バスに関心をもってもらうような取組 を行う。	引き続き地域住民の利用実態、要望 等の把握に努め、路線の特性を踏ま えたターゲットに合った利用促進策に より、効果的・効率的な運行に繋げて いくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
福岡県バス対策協議会	JR九州バス(株)	山の神～久山～博多 バス車両1台の購入	お客さまの乗車状況を見ながら、今後のダイヤ編成につなげて行く。 接続駅にバスの利用を促す広報活動を展開した。	A	A	新規の利用者を誘発できるよう、利用実態を把握し、利便性等のPRを強化する。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	JR九州バス(株)	直方～鞍高前～博多 バス車両1台の購入	土日祝ダイヤの見直しを行い、収支改善を図った。	A	C	地域のイベント参加等、自治体と連携しながら、観光等利用促進につながる活動に取り組む。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込策も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	JR九州バス(株)	宮田町～新飯塚	土日祝ダイヤの見直しを行い、収支改善を図った。	A	C	新規の利用者を誘発できるよう、利用実態を把握し、利便性等のPRを強化する。今後は、利用者の減少に歯止めがかかるよう利用を促す活動を展開していく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込策も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
福岡県バス対策協議会	JR九州バス(株)	直方～福丸～福岡	ダイヤ改正で、福丸～福岡系統と他系統との接続等を考慮したダイヤ改正を行い、利便性の向上及び収支改善を図った。	A	C	お客さまの乗車状況を見ながら、今後のダイヤ編成につなげて収支改善を図って行く。今後は、効率的な運行を検討し、収支改善を図る。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 伊万里線	大手口～徳須恵～伊万里系統の運行。	目標収支率は輸送人員が減少傾向であるが、収支改善努力目標として昨年と同程度の数値を設定した。また、利用者の状況をもとに沿線自治体と協議を行った。	A	C	沿線自治体と枝系統も含めて運行系統の見直しを図るべく協議を続けていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、地域内の関連系統との役割分担と路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 名護屋循環線	唐津～小加倉・野元～大手口の運行。	目標収支率は輸送人員が減少傾向であるが、収支改善努力目標として昨年と同程度の数値を設定した。また、H30.4の再編実施に向けて関係機関と協議を重ねた。	A	C	H30.4に再編実施計画を実施する。 (本循環系統を2系統に分割)	再編実施計画より利用者のニーズに合った運行の効率化が図られ、輸送人員の増加、収支率の改善により、地域公共交通の確保・維持に繋がることを期待する。また、再編結果の効果検証のための情報収集、利用促進のための情報発信等により更なる効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 七山線	大手口～浜崎四つ角・なののゆ～細川系統の運行。	目標収支率は輸送人員が減少傾向であるが、収支改善努力目標として昨年と同程度の数値を設定した。引き続き枝線系統も含め七山地区の全体的な見直しを協議中。	A	C	路線沿線の浜崎駅改修に併せ、七山エリアの全体的な再編を行うべく協議を続けていく。	引き続き要因分析を行い、エリア全体として最適な運行を検討し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 多久線	佐賀駅BC～徳万・小城～多久駅前系統の運行。	目標収支率は輸送人員が減少傾向であるが、収支改善努力目標として昨年と同程度の数値を設定した。佐賀県を主体とした調査事業を基に、全体的な路線再編を計画。	A	A	多久駅に接続する枝線系統や重複する唐津佐賀線も含め全体的な路線再編を行い効率的な運行を目指す。	引き続き要因分析を行い、重複する系統の効率化も含め、エリア全体として最適な運行を検討し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 三瀬線	佐賀駅BC～神崎駅前・三瀬温泉～三瀬車庫前系統の運行。	目標収支率は輸送人員が減少傾向であるが、収支改善努力目標として昨年と同程度の数値を設定した。佐賀県を主体とした調査事業を基に、全体的な路線再編を計画。	A	C	実績輸送量が15.4人であり要件を満たさなくなる可能性が高いので生産性向上の取り組みに記載した純粋な輸送人員増の取り組みを行っていく。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行い、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 北山線	北山中原～鷹の羽・古湯温泉～辻の堂系統の運行。	昨年度実績が収支率の目標を達成したため、本年度の目標収支率を5%高く設定した。現在、佐賀県を主体とした調査事業を基に、全体的な路線再編を計画。	A	C	生産性向上の取り組みを中心に収支率改善を引き続き行っていく。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行い、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 古湯線	フォレストふじ～尼寺・川上橋～辻の堂系統の運行。	目標収支率は輸送人員が減少傾向であるが、収支改善努力目標として昨年と同程度の数値を設定した。佐賀県を主体とした調査事業を基に、全体的な路線再編を計画。	A	B	生産性向上の取り組みを中心に収支率改善を引き続き行っていく。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行い、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 唐津・佐賀線	大手口～多久駅前・片田江～佐賀駅BC系統の運行。	昨年度実績が収支率の目標を達成したため、本年度の目標収支率を5%高く設定した。現在、佐賀県を主体とした調査事業を基に、全体的な路線再編を計画中。	A	C	長大であり、ほぼJRと重複している本路線について接続枝線や多久佐賀線を含め全体的な路線再編を行うべく関係機関と協議を続けていく。	接続する地域内路線、他の交通機関との関係を整理し、地域公共交通全体として最適な運行を検討し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 中極線	小城～中極・尼寺～辻の堂系統の運行。	昨年度実績が収支率の目標を達成したため、本年度の目標収支率を5%高く設定した。現在、佐賀県を主体とした調査事業を基に、全体的な路線再編を計画中。	A	C	沿線に新興住宅地が多く、利用者数も増加しているので生産性向上の取組みを中心に事業を行っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 多久・武雄線	多久市役所前～北部小前・本多久～竹下町系統の運行。	目標収支率は輸送人員が減少傾向であるが、収支改善努力目標として昨年と同程度の数値を設定した。佐賀県を主体とした調査事業を基に、全体的な路線再編を計画中。	A	C	H30.5頃の武雄市庁舎移転に絡み、運行経路の見直しを計画中。	路線沿線の施設の移転に合わせ、最適な運行ルート変更により、地域住民の利用実態に即した効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 仮屋線	大手口～岩野・仮屋～玄海エネルギーパーク系統の運行。	昨年度実績が目標収支率に対し大幅に低かったため、本年度の目標収支率は昨年度実績数値の5%改善で設定した。また、H30.4の再編実施に向けて関係機関と協議を重ねた。	A	C	H30.4に再編実施計画を実施する。(本系統を幹線・枝線に分割)	再編実施計画より利用者のニーズに合った運行の効率化が図られ、輸送人員の増加、収支率の改善により、地域公共交通の確保・維持に繋がることを期待する。また、再編結果の効果検証のための情報収集、利用促進のための情報発信等により更なる効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 湊線	大手口～みなと園～呼子系統の運行。	目標収支率は輸送人員が減少傾向であるが、収支改善努力目標として昨年と同程度の数値を設定した。佐賀県を主体とした調査事業を基に、全体的な路線再編を計画中。	A	C	生産性向上の取組みを中心に収支率改善を引き続き行っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 呼子線	大手口～岩野・打上～呼子系統の運行。	昨年度実績が収支率の目標を達成したため、本年度の目標収支率を10%高く設定した。H29.4に観光客の取り込みのため起点を「大手口」から「宝当棧橋」まで延伸した。	A	C	観光客利用により増加し続けていた輸送人員の増が頭打ちになってきているので、生産性向上の取組みを中心に事業を行っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の更なる掘り起こしも検討し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 有浦線	大手口～有浦上・金の手～入野系統の運行。	昨年度実績が目標収支率を達成することはなかったものの収支改善効果が見られたため、昨年度の目標収支率よりも5%高く設定した。また、H30.4の再編実施に向けて関係機関と協議を重ねた。	A	C	H30.4に再編実施計画を実施する。(本系統を幹線・枝線に分割)	再編実施計画より利用者のニーズに合った運行の効率化が図られ、輸送人員の増加、収支率の改善により、地域公共交通の確保・維持に繋がることを期待する。また、再編結果の効果検証のための情報収集、利用促進のための情報発信等により更なる効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 切木線	大手口～切子・古保志気～入野系統の運行。	輸送人員の減少等を鑑み、目標収支率を昨年度の実績程度と設定した。現在、佐賀県を主体とした調査事業を基に、全体的な路線再編を計画中。	A	C	肥前エリアの再編実施に向け関係機関と協議中。	再編に向けて、路線の状況、利用実態、住民の要望等の把握を行い、系統の再編と路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	昭和自動車(株) 北波多線	大手口～今組・山本～市民病院きたはた系統の運行。	H29新規系統	-	-	再編前と比較し輸送人員が増加しているため、今後の動向に注視しながらも生産性向上の取組みを中心に事業を行っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	佐賀市交通局 犬井道線	佐賀駅BC～唐人町・大崎～大詫間系統の運行。車両減価償却費等国庫補助金によりバス車両3台を購入。	国・県・佐賀市と連携し、ICカードシステムの導入を開始するなど、バスが利用しやすくなる環境整備に努めた。	A	A	国・県・佐賀市と連携し、ICカード(nimocca)における乗継割引サービスや定期券機能の追加、バスロケーションシステムの導入などを行い、バスが利用しやすくなる環境整備に努め、利用者の増加を図る。	ICカード導入により取得が容易となった乗降データ等を積極的に活用し、さらに乗継割引等の機能向上により、利用者利便の向上、利用実態に即した効果的、効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	佐賀市交通局 早津江線	佐賀駅BC～唐人町・諸富橋～早津江系統の運行。車両減価償却費等国庫補助金によりバス車両3台を購入。	国・県・佐賀市と連携し、ICカードシステムの導入を開始するなど、バスが利用しやすくなる環境整備に努めた。	A	C	国・県・佐賀市と連携し、ICカード(nimocca)における乗継割引サービスや定期券機能の追加、バスロケーションシステムの導入などを行い、バスが利用しやすくなる環境整備に努め、利用者の増加を図る。	ICカード導入により取得が容易となった乗降データ等を積極的に活用し、さらに乗継割引等の機能向上により、利用者利便の向上、利用実態に即した効果的、効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	佐賀市交通局 橋津線	佐賀駅BC～朝日町・諸富橋～早津江系統の運行。車両減価償却費等国庫補助金によりバス車両3台を購入。	国・県・佐賀市と連携し、ICカードシステムの導入を開始するなど、バスが利用しやすくなる環境整備に努めた。	A	B	国・県・佐賀市と連携し、ICカード(nimocca)における乗継割引サービスや定期券機能の追加、バスロケーションシステムの導入などを行い、バスが利用しやすくなる環境整備に努め、利用者の増加を図る。	ICカード導入により取得が容易となった乗降データ等を積極的に活用し、さらに乗継割引等の機能向上により、利用者利便の向上、利用実態に即した効果的、効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	佐賀市交通局 金立(来迎寺)線	県庁前・佐嘉神社前～尼寺・来迎寺～運転免許センター系統の運行。車両減価償却費等国庫補助金によりバス車両3台を購入。	国・県・佐賀市と連携し、ICカードシステムの導入を開始するなど、バスが利用しやすくなる環境整備に努めた。	A	A	国・県・佐賀市と連携し、ICカード(nimocca)における乗継割引サービスや定期券機能の追加、バスロケーションシステムの導入などを行い、バスが利用しやすくなる環境整備に努め、利用者の増加を図る。	ICカード導入により取得が容易となった乗降データ等を積極的に活用し、さらに乗継割引等の機能向上により、利用者利便の向上、利用実態に即した効果的、効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	佐賀市交通局 金立(いこい)線	県庁前・佐嘉神社前～尼寺・金立憩い～運転免許センター系統の運行。車両減価償却費等国庫補助金によりバス車両3台を購入。	国・県・佐賀市と連携し、ICカードシステムの導入を開始するなど、バスが利用しやすくなる環境整備に努めた。	A	B	国・県・佐賀市と連携し、ICカード(nimocca)における乗継割引サービスや定期券機能の追加、バスロケーションシステムの導入などを行い、バスが利用しやすくなる環境整備に努め、利用者の増加を図る。	ICカード導入により取得が容易となった乗降データ等を積極的に活用し、さらに乗継割引等の機能向上により、利用者利便の向上、利用実態に即した効果的、効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	佐賀市交通局 広江線	佐賀駅BC～中島・広江～和崎系統の運行。車両減価償却費等国庫補助金によりバス車両3台を購入。	国・県・佐賀市と連携し、ICカードシステムの導入を開始するなど、バスが利用しやすくなる環境整備に努めた。	A	A	国・県・佐賀市と連携し、ICカード(nimocca)における乗継割引サービスや定期券機能の追加、バスロケーションシステムの導入などを行い、バスが利用しやすくなる環境整備に努め、利用者の増加を図る。	ICカード導入により取得が容易となった乗降データ等を積極的に活用し、さらに乗継割引等の機能向上により、利用者利便の向上、利用実態に即した効果的、効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	佐賀市交通局 東与賀線	佐賀駅BC～大財町・佐賀大学前～大野系統の運行。車両減価償却費等国庫補助金によりバス車両3台を購入。	国・県・佐賀市と連携し、ICカードシステムの導入を開始するなど、バスが利用しやすくなる環境整備に努めた。	A	A	国・県・佐賀市と連携し、ICカード(nimocca)における乗継割引サービスや定期券機能の追加、バスロケーションシステムの導入などを行い、バスが利用しやすくなる環境整備に努め、利用者の増加を図る。	ICカード導入により取得が容易となった乗降データ等を積極的に活用し、さらに乗継割引等の機能向上により、利用者利便の向上、利用実態に即した効果的、効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	佐賀市交通局 西与賀線	佐賀駅BC～大財町・佐賀大学前～くぼた特産物直売所系統の運行。車両減価償却費等国庫補助金によりバス車両3台を購入。	国・県・佐賀市と連携し、ICカードシステムの導入を開始するなど、バスが利用しやすくなる環境整備に努めた。	A	A	国・県・佐賀市と連携し、ICカード(nimocca)における乗継割引サービスや定期券機能の追加、バスロケーションシステムの導入などを行い、バスが利用しやすくなる環境整備に努め、利用者の増加を図る。	ICカード導入により取得が容易となった乗降データ等を積極的に活用し、さらに乗継割引等の機能向上により、利用者利便の向上、利用実態に即した効果的、効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	佐賀市交通局 蓮池線	佐賀駅BC～唐人町・東田代～橋津系統の運行。車両減価償却費等国庫補助金によりバス車両3台を購入。	国・県・佐賀市と連携し、ICカードシステムの導入を開始するなど、バスが利用しやすくなる環境整備に努めた。	A	A	国・県・佐賀市と連携し、ICカード(nimocca)における乗継割引サービスや定期券機能の追加、バスロケーションシステムの導入などを行い、バスが利用しやすくなる環境整備に努め、利用者の増加を図る。	ICカード導入により取得が容易となった乗降データ等を積極的に活用し、さらに乗継割引等の機能向上により、利用者利便の向上、利用実態に即した効果的、効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	佐賀市交通局 嘉瀬新町線	佐賀駅BC～医療センター・嘉瀬新町～くぼた特産物直売所系統の運行。車両減価償却費等国庫補助金によりバス車両3台を購入。	国・県・佐賀市と連携し、ICカードシステムの導入を開始するなど、バスが利用しやすくなる環境整備に努めた。	A	B	国・県・佐賀市と連携し、ICカード(nimocca)における乗継割引サービスや定期券機能の追加、バスロケーションシステムの導入などを行い、バスが利用しやすくなる環境整備に努め、利用者の増加を図る。	ICカード導入により取得が容易となった乗降データ等を積極的に活用し、さらに乗継割引等の機能向上により、利用者利便の向上、利用実態に即した効果的、効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	佐賀市交通局 徳万線	佐賀駅BC～医療センター・徳万～くぼた特産物直売所系統の運行。車両減価償却費等国庫補助金によりバス車両3台を購入。	国・県・佐賀市と連携し、ICカードシステムの導入を開始するなど、バスが利用しやすくなる環境整備に努めた。	A	B	国・県・佐賀市と連携し、ICカード(nimocca)における乗継割引サービスや定期券機能の追加、バスロケーションシステムの導入などを行い、バスが利用しやすくなる環境整備に努め、利用者の増加を図る。	ICカード導入により取得が容易となった乗降データ等を積極的に活用し、さらに乗継割引等の機能向上により、利用者利便の向上、利用実態に即した効果的、効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点		評価結果
佐賀県地域公共交通活性化協議会	祐徳バス(株) 佐賀線	祐徳神社前～山口駅前・好生館～佐賀駅バスセンター系統の運行 車両減価償却等 国庫補助金によりノンステップバス1台を購入	時刻表等の配布、乗務員への接客指導を行った。	A	A	病院、学校、ホテル及び電話等で問合せのあった方へ全線時刻表並びに最寄りのバス停の時刻表を配布。全てのバス停に補助金で運行している事の掲示。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行い、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	祐徳バス(株) 武雄線	下西山車庫～山口駅前・好生館～佐賀駅バスセンター系統の運行	時刻表等の配布、乗務員への接客指導を行った。	A	B	病院、学校、ホテル及び電話等で問合せのあった方へ全線時刻表並びに最寄りのバス停の時刻表を配布。全てのバス停に補助金で運行している事の掲示。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行い、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	祐徳バス(株) 嬉野線	祐徳神社前～嬉野市役所・医療センター～湯の田系統の運行	時刻表等の配布、乗務員への接客指導を行った。	A	C	病院、学校、ホテル及び電話等で問合せのあった方へ全線時刻表並びに最寄りのバス停の時刻表を配布。全てのバス停に補助金で運行している事の掲示。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行い、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	祐徳バス(株) 吉田線	中川～吉田～湯の田系統の運行	時刻表等の配布、乗務員への接客指導を行った。	A	A	病院、学校、ホテル及び電話等で問合せのあった方へ全線時刻表並びに最寄りのバス停の時刻表を配布。全てのバス停に補助金で運行している事の掲示。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行い、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	祐徳バス(株) 祐徳線	祐徳神社前～嬉野市役所～武雄駅前系統の運行 車両減価償却等 国庫補助金によりノンステップバス1台を購入	時刻表等の配布、乗務員への接客指導を行った。	A	B	病院、学校、ホテル及び電話等で問合せのあった方へ全線時刻表並びに最寄りのバス停の時刻表を配布。全てのバス停に補助金で運行している事の掲示。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行い、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	祐徳バス(株) 太良線	鹿島バスセンター～糸岐本町～県界系統の運行 車両減価償却等 国庫補助金によりノンステップバス1台を購入	時刻表等の配布、乗務員への接客指導を行った。	A	A	病院、学校、ホテル及び電話等で問合せのあった方へ全線時刻表並びに最寄りのバス停の時刻表を配布。全てのバス停に補助金で運行している事の掲示。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行い、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株) 久留米～鳥栖線	JR久留米～久留米警察署～西鉄鳥栖系統の運行。	筑後佐賀地区版「沿線のもよおし」の継続掲出によるバス利用需要の喚起、福岡都心や久留米地区でのバス情報配布活動を継続実施しました。	A	A	停留所への吊り下げ時刻表の掲出等の増収活動の継続に加え、沿線自治体と連携した住民ニーズの把握やバス利用を促す周知等に取り組む必要があると考えます。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株) 鳥栖～神埼線	鳥栖駅～目達原系統の運行。	筑後佐賀地区版「沿線のもよおし」の継続掲出によるバス利用需要の喚起、福岡都心や久留米地区でのバス情報配布活動を継続実施しました。	A	A	停留所への吊り下げ時刻表の掲出等の増収活動の継続に加え、沿線自治体と連携した住民ニーズの把握やバス利用を促す周知等に取り組む必要があると考えます。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株) 鳥栖～神埼線	鳥栖駅～目達原～神埼駅通り系統の運行。	筑後佐賀地区版「沿線のもよおし」の継続掲出によるバス利用需要の喚起、福岡都心や久留米地区でのバス情報配布活動を継続実施しました。	A	A	停留所への吊り下げ時刻表の掲出等の増収活動の継続に加え、沿線自治体と連携した住民ニーズの把握やバス利用を促す周知等に取り組む必要があると考えます。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株) 綾部線	鳥栖駅～綾部・国立東佐賀病院前～西鉄久留米系統の運行。	筑後佐賀地区版「沿線のもよおし」の継続掲出によるバス利用需要の喚起、福岡都心や久留米地区でのバス情報配布活動を継続実施しました。	A	A	停留所への吊り下げ時刻表の掲出等の増収活動の継続に加え、沿線自治体と連携した住民ニーズの把握やバス利用を促す周知等に取り組む必要があると考えます。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株) 江見線	佐賀第二合同庁舎～江見～西鉄久留米系統の運行。	筑後佐賀地区版「沿線のもよおし」の継続掲出によるバス利用需要の喚起、福岡都心や久留米地区でのバス情報配布活動を継続実施しました。	A	A	停留所への吊り下げ時刻表の掲出等の増収活動の継続に加え、沿線自治体と連携した住民ニーズの把握やバス利用を促す周知等に取り組む必要があると考えます。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	西鉄バス佐賀(株) 江見線	佐賀第二合同庁舎～江見～信愛女学院系統の運行。	筑後佐賀地区版「沿線のもよおし」の継続掲出によるバス利用需要の喚起、福岡都心や久留米地区でのバス情報配布活動を継続実施しました。	A	A	停留所への吊り下げ時刻表の掲出等の増収活動の継続に加え、沿線自治体と連携した住民ニーズの把握やバス利用を促す周知等に取り組む必要があると考えます。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	西肥自動車(株) 松浦駅前～伊万里駅前線	松浦駅前～伊万里駅前系統の運行。	利用状況の分析を行い、時刻の見直しを行った。また、H29.10より重複系統を廃止し、当該系統に一本化することで運行の効率化を図った。	A	C	H29.10より当該系統の競合系統を廃止し、当該路線への一本化を実施している。運行時刻の見直しや、バスの乗り方教室等を行い、利用者増を目指す。	次年度計画での競合系統の廃止、運行時刻の変更等の効果を見ながら、引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	西肥自動車(株) 福島支所前～伊万里駅前線	福島支所前～伊万里駅前系統の運行。	利用状況の分析およびお客様の要望をもとに時刻の見直しを行った。	A	B	運行時刻の見直しや、バスの乗り方教室等を行い、利用者増を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	西肥自動車(株) 三間坂駅前～伊万里駅前線	三間坂駅前～伊万里駅前系統の運行。	利用状況の分析を行い、時刻の見直しを行った。また、沿線でのイベントにバスでの来場を促す時刻表を作成し、各所で配布を行った。	A	C	運行時刻の見直しや、当該路線に特化した時刻表・沿線マップの作成および全戸配布を行い、利用者増を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	西肥自動車(株) 佐世保～伊万里線	佐世保～伊万里系統の運行。	利用状況の分析を行い、運行回数や時刻の見直しを検討中。	A	C	運行時刻の見直しや有田町コミュニティバスとの接続等を行い、利用者増を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、地域内系統との接続強化と路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	西肥自動車(株) 佐世保～嬉野線	佐世保～嬉野系統の運行。	利用状況の分析を行い、運行回数や時刻の見直しを行った。	A	B	運行時刻の見直しや、当該路線に特化した時刻表・沿線マップの作成および全戸配布を行い、利用者増を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
佐賀県地域公共交通活性化協議会	JR九州バス(株) 嬉野線	嬉野温泉～武雄市役所前～武雄温泉南口～新武雄病院系統の運行	市町村と協力し、バス停や車内に外国人向けも含めた観光名所等の案内掲示を行った。	A	B	インバウンドの乗客は増加したものの、乗務員不足による賃金制度見直しや燃料の高騰により、収支率が目標まで届かなかった。今後は、将来の新幹線開通を考えた輸送体系と観光等の交通網としても市町村と一体となって検討して行く。	沿線の観光資源を活用した観光施設とのタイアップや効果的な情報発信、インバウンド向けの情報提供等を行うなど、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
佐賀県地域公共交通活性化協議会	JR九州バス(株) 嬉野線	彼杵～嬉野温泉～ 武雄市役所前～武 雄温泉南口～ゆめ タウン系統の運行	市町村と協力し、バス停や車 内に外国人向けも含めた観 光名所等の案内掲示を行 なった。	A	B	インバウンドの乗客は増加したも の、乗務員不足による賃金制度見直 しや燃料の高騰により、収支率が目 標まで届かなかった。今後は、将来 の新幹線開通を考えた輸送体系と観 光等の交通網としても市町村と一体 となって検討して行く。	沿線の観光資源を活用した観光施設 とのタイアップや効果的な情報発信、 インバウンド向けの情報提供等を行 うなど、観光需要の取込により、輸送人 員の増加に繋がるよう、効果的な取 組を行うことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	長崎県交通局	長崎～雲仙の運行	現状維持以上を目指して安 定的運行に努めた。 また、『各種フリーパスの実 施』及び『おでかけMAPの配 布』によるバス利用促進のた めの取組を行った。	A	A	引き続きお客様の確保と安定運行に 努める。	沿線の観光資源を活用した観光施設 とのタイアップや効果的な情報発信等 を行うなど、観光需要の取込により、 輸送人員の増加に繋がるよう、効果 的な取組を行うことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	長崎県交通局	江の浦～長崎 【車両補助対象】 ・H28.03 購入4台 (H28.3購入4台)	利用状況に合わせて、運行 ダイヤの見直しを行った。 また、『各種フリーパスの実 施』及び『おでかけMAPの配 布』によるバス利用促進のた めの取組を行った。	A	A	引き続きお客様の確保と安定運行に 努める。	地域の魅力発信を目的に企画したバ ス路線マップ等による観光需要の取 込も併せて、路線の特性を踏まえた ターゲットに合った利用促進策によ り、効果的・効率的な運行に繋げてい くことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	長崎県交通局	江の浦～長崎の運 行	利用状況に合わせて、運行 ダイヤの見直しを行った。 また、『各種フリーパスの実 施』及び『おでかけMAPの配 布』によるバス利用促進のた めの取組を行った。	A	B	沿線住民の動向に留意しながら適正 な運行に努める。	地域の魅力発信を目的に企画したバ ス路線マップ等による観光需要の取 込も併せて、路線の特性を踏まえた ターゲットに合った利用促進策によ り、効果的・効率的な運行に繋げてい くことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	長崎県交通局	諫早～県界 【車両補助対象】 ・H25.02 購入4台 ・H26.03 購入1台	利用状況に合わせて、運行 ダイヤの見直しを行った。 また、『各種フリーパスの実 施』及び『おでかけMAPの配 布』によるバス利用促進のた めの取組を行った。	A	B	沿線住民の動向に留意しながら適正 な運行に努める。	地域の魅力発信を目的に企画したバ ス路線マップ等による観光需要の取 込も併せて、路線の特性を踏まえた ターゲットに合った利用促進策によ り、効果的・効率的な運行に繋げてい くことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
長崎県バス対策協議会	長崎県交通局	諫早～みさかえの園の運行 車両補助対象 ・H26.03 購入2台	現状維持以上を目指して安定的運行に努めた。 また、『各種フリーパスの実施』及び『おでかけMAPの配布』によるバス利用促進のための取組を行った。	A	B	沿線住民の動向に留意しながら適正な運行に努める。	地域の魅力発信を目的に企画したバス路線マップ等による観光需要の取込も併せて、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	長崎県交通局	東厚生町～飯盛団地の運行	現状維持以上を目指して安定的運行に努めた。 また、『各種フリーパスの実施』及び『おでかけMAPの配布』によるバス利用促進のための取組を行った。	A	A	引き続きお客様の確保と安定運行に努める。	地域の魅力発信を目的に企画したバス路線マップ等による観光需要の取込も併せて、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	長崎県交通局	今村～早見の運行 車両補助対象 ・H25.02 購入2台 ・H26.03 購入1台	現状維持以上を目指して安定的運行に努めた。 また、『各種フリーパスの実施』及び『おでかけMAPの配布』によるバス利用促進のための取組を行った。	A	B	沿線住民の動向に留意しながら適正な運行に努める。	地域の魅力発信を目的に企画したバス路線マップ等による観光需要の取込も併せて、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	長崎県交通局	東厚生町～西川内の運行	現状維持以上を目指して安定的運行に努めた。 また、『各種フリーパスの実施』及び『おでかけMAPの配布』によるバス利用促進のための取組を行った。	A	A	引き続きお客様の確保と安定運行に努める。	地域の魅力発信を目的に企画したバス路線マップ等による観光需要の取込も併せて、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	長崎県交通局	諫早～長崎空港の運行	現状維持以上を目指して安定的運行に努めた。 また、『各種フリーパスの実施』及び『おでかけMAPの配布』によるバス利用促進のための取組を行った。	A	A	引き続きお客様の確保と安定運行に努める。	地域の魅力発信を目的に企画したバス路線マップ等による観光需要の取込も併せて、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	西肥自動車(株)	佐世保駅前～吉井の運行	利用状況の分析を行い、時刻の見直しを行った。	A	B	運行時刻の見直しや、当該路線に特化した時刻表・沿線マップの作成および全戸配布を行い、利用者増を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
長崎県バス対策協議会	西肥自動車(株)	佐世保駅前～世知原の運行	利用状況の分析を行い、時刻の見直しを行った。	A	B	運行時刻の見直しや、当該路線に特化した時刻表・沿線マップの作成および全戸配布を行い、利用者増を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	西肥自動車(株)	松浦駅前～伊万里駅前の運行	利用状況の分析を行い、時刻の見直しを行った。また、H29.10より重複システムを廃止し、当該システムに一本化することで運行の効率化を図った。	A	B	H29.10より当該システムの競合システムを廃止し、当該路線への一本化を実施している。運行時刻の見直しや、バスの乗り方教室等を行い、利用者増を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	西肥自動車(株)	松浦駅前～平戸棧橋の運行	利用状況の分析を行い、時刻の見直しを行った。	A	B	時刻の適正化等による効率的な運行を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	西肥自動車(株)	福島支所前～伊万里駅前の運行	利用状況の分析およびお客様の要望をもとに時刻の見直しを行った。	A	B	運行時刻の見直しや、バスの乗り方教室等を行い、利用者増を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	西肥自動車(株)	川棚バスセンター～内海の運行	利用状況の分析を行い、運行回数や時刻の見直しを検討中。	A	B	運行時刻の見直しや、当該路線に特化した時刻表・沿線マップの作成および全戸配布を行い、利用者増を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	西肥自動車(株)	佐世保～伊万里の運行	利用状況の分析を行い、運行回数や時刻の見直しを検討中。	A	B	時刻の適正化等による効率的な運行を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
長崎県バス対策協議会	西肥自動車(株)	有川～青方の運行	利用状況の分析を行い、運行回数や時刻の見直しを行った。	A	A	運行時刻の見直しや、当該路線に特化した時刻表・沿線マップの作成および全戸配布を行い、利用者増を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	西肥自動車(株)	有川～奈良尾の運行	利用状況の分析を行い、運行回数や時刻の見直しを行った。	A	B	時刻の適正化等による効率的な運行を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	西肥自動車(株)	青方循環線の運行	利用状況の分析を行い、運行回数や時刻の見直しを検討中。	A	A	運行時刻の見直しや、当該路線に特化した時刻表・沿線マップの作成および全戸配布を行い、利用者増を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	西肥自動車(株)	佐々バスセンター～江迎の運行	利用状況の分析を行い、運行回数や時刻の見直しを検討中。	A	B	時刻の適正化等による効率的な運行を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	西肥自動車(株)	佐世保～嬉野線の運行	利用状況の分析を行い、運行回数や時刻の見直しを行った。	A	B	運行時刻の見直しや、当該路線に特化した時刻表・沿線マップの作成および全戸配布を行い、利用者増を目指す。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	島原鉄道(株)	島原港～長崎空港の運行	前回と同様に利用者数の変化を示すものとして「平均乗車密度」を指標として取り組んだ。	A	A	島原諫早間においては、当社鉄道と並行して運行しているため、利用のあり方や鉄道との関係など、現状を精査し、島原半島から空港へ直接アクセスする系統の必要性などを沿線自治体と協議を行う。	他の交通機関との連携を整理すると共に、沿線の観光資源を活用した観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行うなど、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
長崎県バス対策協議会	島原鉄道(株)	諫早～島原港の運行	前回と同様に利用者数の変化を示すものとして「平均乗車密度」を指標として取り組んだ。	A	B	当社鉄道と並行して運行している系統であり、年々、利用者の減少が続いている。運行回数や系統そのもののあり方など、沿線自治体と協議を行う。	他の交通機関との連携を整理すると共に、引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	島原鉄道(株)	島原駅～加津佐の運行	前回と同様に利用者数の変化を示すものとして「平均乗車密度」を指標として取り組んだ。	A	B	沿線人口が減少するなか、当該系統の路線上においては、大半の運行区間が重複する系統が複数存在するため、系統の統合など運行の効率化に向けた協議を沿線自治体と行う。	重複系統の効率化等、路線の再編も含め、地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえた効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	島原鉄道(株)	諫早～雲仙の運行	前回と同様に利用者数の変化を示すものとして「平均乗車密度」を指標として取り組んだ。	A	B	沿線人口が減少するなか、当該系統の路線上においては、大半の運行区間が重複する系統が複数存在するため、系統の統合など運行の効率化に向けた協議を沿線自治体と行う。	重複系統の効率化等、路線の再編も含め、地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえた効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	島原鉄道(株)	諫早～島原駅の運行	前回と同様に利用者数の変化を示すものとして「平均乗車密度」を指標として取り組んだ。	A	A	沿線人口が減少するなか、当該系統の路線上においては、大半の運行区間が重複する系統が複数存在するため、系統の統合など運行の効率化に向けた協議を沿線自治体と行う。	重複系統の効率化等、路線の再編も含め、地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえた効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	島原鉄道(株)	青雲荘～島原駅の運行	前回と同様に利用者数の変化を示すものとして「平均乗車密度」を指標として取り組んだ。	A	B	沿線人口が減少するなか、当該系統の路線上においては、大半の運行区間が重複する系統が複数存在するため、系統の統合など運行の効率化に向けた協議を沿線自治体と行う。	重複系統の効率化等、路線の再編も含め、地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえた効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	島原鉄道(株)	諫早～口之津の運行	前回と同様に利用者数の変化を示すものとして「平均乗車密度」を指標として取り組んだ。	A	B	沿線人口が減少するなか、当該系統の路線上においては、大半の運行区間が重複する系統が複数存在するため、系統の統合など運行の効率化に向けた協議を沿線自治体と行う。	重複系統の効率化等、路線の再編も含め、地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえた効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
長崎県バス対策協議会	島原鉄道(株)	諫早～大屋の運行	前回と同様に利用者数の変化を示すものとして「平均乗車密度」を指標として取り組んだ。	A	B	沿線人口が減少するなか、当該系統の路線においては、大半の運行区間が重複する系統が複数存在するため、系統の統合など運行の効率化に向けた協議を沿線自治体と行う。	重複系統の効率化等、路線の再編も含め、地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえた効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	さいかい交通(株) 瀬戸・桜の里線	板の浦～神の浦～ 桜の里ターミナルの運行	沿線施設の世界遺産登録への気運が高まってきており、今後の観光客利用の増加を見込んだダイヤの検討を行った。また同時に、地元利用者のニーズを把握したダイヤ編成の検討を行い、平成29年4月のダイヤ改正において実施した。	A	A	来年度、沿線施設の世界遺産登録が現実味を帯びており、関係機関と連携した利用促進策、及び企画乗車券発売等の検討を行う。また、引き続き地元利用者のニーズ把握及び利用実態の把握に努め、地域住民と観光利用のバランスのとれた効率的なダイヤ編成に繋げると共に、更なる経常収支率の改善に努める。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行うなど観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	さいかい交通(株) 瀬戸・大串線	檜の浦～横瀬棧橋・水浦・西海橋東口～大串の運行	特になし。	A	C	目標経常収支率を大きく下回ったことから、当該路線の安定的かつ継続的な運行を確保するため、更なるダイヤ編成の効率化や利用促進を実現すべく、利用者のニーズ把握に努めるなど地元自治体と緊密に連携する。また、エコドライブの徹底等運行経費の削減に努め、経常収支率の改善を図る。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	五島自動車(株) 三井楽	福江～水の浦～三井楽の運行。 車両補助により平成24年度1台購入。	フリー乗車券の販売による観光客への利用の促進とともに、既存の高齢者割引回数券利用者の維持・拡大に努め、輸送人員の確保に取り組んだ。	A	B	フリー乗車券の広報・PR活動の取り組みに加え、新規割引乗車券の販売により、新規利用客の拡大を図りつつ、引き続き高齢者回数券、学生定期券の販売向上にも力を入れ、増収を目指す。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行うなど観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	五島自動車(株) 富江	福江～大浜～富江の運行。 車両補助により平成25年度1台購入。	フリー乗車券の販売による観光客への利用の促進とともに、既存の高齢者割引回数券利用者の維持・拡大に努め、輸送人員の確保に取り組んだ。	A	B	フリー乗車券の広報・PR活動の取り組みに加え、新規割引乗車券の販売により、新規利用客の拡大を図りつつ、引き続き高齢者回数券、学生定期券の販売向上にも力を入れ、増収を目指す。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行うなど観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
長崎県バス対策協議会	五島自動車(株) 向小浦	福江～小川～向小浦の運行。 車両補助により平成23年度1台購入。	フリー乗車券の販売による観光客への利用の促進とともに、既存の高齢者割引回数券利用者の維持・拡大に努め、輸送人員の確保に取り組んだ。	A	C	利用者数の減少が著しいため、利用状況の分析、把握に努め、運行内容についての改善、見直し等も考慮し、現状に沿った運行体制を検討する。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行うなど観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	壱岐交通(株) 国分経由一周芦辺線	郷ノ浦～勝本・芦辺～郷ノ浦の運行	壱岐市にある2校の高校へ新入生に対し、定期券の利用増につなげるP. Rを行った。 壱岐島民向けの1日フリーバス乗車券の販売を土日祝から平日販売も可能とした。	A	A	目標は達成出来たが少子化による高校生の減少傾向にあるが引き続き学校への広告活動の強化、島民に対する1日フリーバス乗車券に対する販売促進活動を強化し、増収につなげる。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行うなど観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	壱岐交通(株) 湯ノ本経由勝本線	郷ノ浦～湯本～勝本・天ヶ原の運行	壱岐市にある2校の高校へ新入生に対し、定期券の利用増につなげるP. Rを行った。	A	A	目標は達成出来たが少子化による高校生の減少傾向にあるが引き続き学校への広告活動の強化、島民に対する1日フリーバス乗車券に対する販売促進活動を強化し、増収につなげる。	沿線の観光資源を活用し、観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行うなど観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	対馬交通(株) 対馬病院線	厳原～鷗知～対馬病院の運行	(今年度より)	A	A	主系統の運行回数が平日14.0、土日祝日12.0と多く、経費が掛かる為、時間毎の利用目的、利用者の集中する時間帯など乗降調査実績を基に把握、ダイヤの見直し等で効率よく収入を上げていかなければならない。	再編の効果を検証し、沿線の観光資源を活かした観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行うなど観光需要の取込により、更なる輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	対馬交通(株) 縦貫線	対馬病院～空港・仁位～国際ターミナルの運行	(今年度より)	A	A	外国人旅行者利用が集中する時間帯に於いて、始発時点で満車状態となるなど島内住民からの苦情の声も聞かれるようになっている。中型、大型バスの配車等、状況を鑑み、対処が必要である。	再編の効果を検証し、沿線の観光資源を活かした観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行うなど観光需要の取込により、更なる輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。
長崎県バス対策協議会	JR九州バス(株) 嬉野線	彼杵～嬉野温泉～武雄市役所前～武雄温泉南口～ゆめタウン系統の運行。 車両補助により平成22年度1台購入。	沿線住民に定期券のPRを行い、利用促進に努めた。	A	B	今後も沿線市町村及び観光協会等と協力して利用者増を図ると共に輸送改善も含めた経費節減策を検討していく。	沿線の観光資源を活かした観光施設とのタイアップや効果的な情報発信を行うなど観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	1 直行線 交通センター～御船～通潤山荘	沿線の状況把握に努め、運行時刻変更を行い利便性向上に努めた。	A	B	現在も震災の影響が続いている中で、H29.10ダイヤ改正後の利用状況のデータを基に、事業者及び関係市町と検討しながら、利用促進を図っていく。	依然として震災の影響が残っているが、引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策や小荷物収入の獲得等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	2 砥用線 交通センター～辺場～砥用学校前	沿線の状況把握に努め、運行時刻変更を行い利便性向上に努めた。	A	B	H29.10ダイヤ改正後の利用状況のデータを基に、事業者及び関係市町と検討しながら、利用促進を図っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策や小荷物収入の獲得等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	3 辺場・甲佐線 交通センター～辺場～甲佐	沿線の状況把握に努め、運行時刻変更を行い利便性向上に努めた。	A	B	H29.10ダイヤ改正後の利用状況のデータを基に、事業者及び関係市町と検討しながら、利用促進を図っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策や小荷物収入の獲得等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	4 辺場線 交通センター～辺場～浜町	沿線の状況把握に努め、運行時刻変更を行い利便性向上に努めた。	A	A	現在も震災の影響で迂回運行が続いているが、H29.10ダイヤ改正後の利用状況のデータを基に、事業者及び関係市町と検討しながら、利用促進を図っていく。	依然として震災の影響が残っているが、引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策や小荷物収入の獲得等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	5 御船・甲佐線 交通センター～御船～甲佐	沿線の状況把握に努め、運行時刻変更を行い利便性向上に努めた。	A	B	H29.10ダイヤ改正後の利用状況のデータを基に、事業者及び関係市町と検討しながら、利用促進を図っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策や小荷物収入の獲得等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	6 健軍・砥用線 交通センター～健軍～砥用学校前	沿線の状況把握に努め、運行時刻変更を行い利便性向上に努めた。	A	A	H29.10ダイヤ改正後の利用状況のデータを基に、事業者及び関係市町と検討しながら、利用促進を図っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策や小荷物収入の獲得等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	7 健軍線 交通センター～健軍～甲佐	沿線の状況把握に努め、運行時刻変更を行い利便性向上に努めた。	A	A	H29.10ダイヤ改正後の利用状況のデータを基に、事業者及び関係市町と検討しながら、利用促進を図っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策や小荷物収入の獲得等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	8 健軍・イオン線 交通センター～東区役所～イオン	沿線の状況把握に努め、運行時刻変更を行い利便性向上に努めた。	A	B	H29.10ダイヤ改正後の利用状況のデータを基に、事業者及び関係市町と検討しながら、利用促進を図っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策や小荷物収入の獲得等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	9 城南・宇土線 交通センター～城南～宇土駅	沿線の状況把握に努め、運行時刻変更を行い利便性向上に努めた。	A	B	H29.10ダイヤ改正後の利用状況のデータを基に、鉄道との乗り継ぎを考慮し、事業者及び関係市町と検討しながら、利用促進を図っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策や小荷物収入の獲得等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	10 城南・松橋線 交通センター～城南～松橋駅	沿線の状況把握に努め、運行時刻変更を行い利便性向上に努めた。	A	B	H29.10ダイヤ改正後の利用状況のデータを基に、鉄道との乗り継ぎを考慮し、事業者及び関係市町と検討しながら、利用促進を図っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策や小荷物収入の獲得等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	11 画図線 交通センター～画 図～城南	沿線の状況把握に努め、運 行時刻変更を行い利便性向 上に努めた。	A	B	H29.10ダイヤ改正後の利用状況の データを基に、事業者及び関係市町 と検討しながら、利用促進を図って いく。	引き続き地域住民の利用実態、要望 等の把握に努め、観光需要の取込も 検討しながら、路線の特性を踏まえた ターゲットに合った利用促進策や小荷 物収入の獲得等により、効果的・効率 的な運行に繋げていくことが望まし い。
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	12 乙女線 交通センター～乙 女～甲佐	沿線の状況把握に努め、運 行時刻変更を行い利便性向 上に努めた。	A	B	現在も震災の影響で迂回運行が続い ているが、H29.10ダイヤ改正後の利 用状況のデータを基に、事業者及び 関係市町と検討しながら、利用促進 を図っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望 等の把握に努め、観光需要の取込も 検討しながら、路線の特性を踏まえた ターゲットに合った利用促進策や小荷 物収入の獲得等により、効果的・効率 的な運行に繋げていくことが望まし い。
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	13 中病・イオン線 交通センター～中 央病院～イオン	沿線の状況把握に努め、運 行時刻変更を行い利便性向 上に努めた。	A	A	H29.10ダイヤ改正後の利用状況の データを基に、事業者及び関係市町 と検討しながら、利用促進を図って いく。	引き続き地域住民の利用実態、要望 等の把握に努め、観光需要の取込も 検討しながら、路線の特性を踏まえた ターゲットに合った利用促進策や小荷 物収入の獲得等により、効果的・効率 的な運行に繋げていくことが望まし い。
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	14 江津・イオン線 交通センター～江 津～イオン	沿線の状況把握に努め、運 行時刻変更を行い利便性向 上に努めた。	A	A	H29.10ダイヤ改正後の利用状況の データを基に、事業者及び関係市町 と検討しながら、利用促進を図って いく。	引き続き地域住民の利用実態、要望 等の把握に努め、観光需要の取込も 検討しながら、路線の特性を踏まえた ターゲットに合った利用促進策や小荷 物収入の獲得等により、効果的・効率 的な運行に繋げていくことが望まし い。
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	15 セイラ・イオン 線 交通センター～セイ ラ～イオン	沿線の状況把握に努め、運 行時刻変更を行い利便性向 上に努めた。	A	A	H29.10ダイヤ改正後の利用状況の データを基に、事業者及び関係市町 と検討しながら、利用促進を図って いく。	引き続き地域住民の利用実態、要望 等の把握に努め、観光需要の取込も 検討しながら、路線の特性を踏まえた ターゲットに合った利用促進策や小荷 物収入の獲得等により、効果的・効率 的な運行に繋げていくことが望まし い。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
熊本県バス対策協議会	熊本バス(株)	16 城南・志導寺線 交通センター～城南～志導寺	沿線の状況把握に努め、運行時刻変更を行い利便性向上に努めた。	A	A	H29.10ダイヤ改正後の利用状況のデータを基に、事業者及び関係市町と検討しながら、利用促進を図っていく。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策や小荷物収入の獲得等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	九州産交バス(株)	1 川尻バイパス・宇土新道経由 熊本～松橋線	H27.南部地区の再編を実施済であるため、大きさ改正は実施していない	A	A	再編を実施しているため大きな改正は実施しない	路線再編の効果検証と併せて、引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	産交バス(株)	1 健軍・東無田經由 熊本・御船線	停留所環境整備として、年2回の点検整備を実施した。	A	A	事業者及び関係市町と連携しながら、引き続き停留所の環境整備(清掃、時刻表、路線図)を行うほか、利用実態に合わせた運行ルート・ダイヤの調整に努める。	路線のメインターゲットである通学利用者の動向を踏まえた利便性向上を図り、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	産交バス(株)	2 江田經由熊本・南関線	H28.10.1実態に即したダイヤ設定を実施し利便向上を図った。また、停留所環境整備として、年2回の点検整備を実施した。	A	A	事業者及び関係市町と連携しながら、引き続き停留所の環境整備(清掃、時刻表、路線図)を行うほか、運行区間の交通網形成計画等に沿って運行ルート・ダイヤの調整に努める。	路線のメインターゲットである通学利用者の動向を踏まえた利便性向上を図り、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	産交バス(株)	3 河内經由熊本・玉名線	H28.10.1実態に即したダイヤ設定及び停留所新設を実施し利便向上を図った。また、停留所環境整備として、年2回の点検整備を実施した。	A	A	事業者及び関係市町と連携しながら、引き続き停留所の環境整備(清掃、時刻表、路線図)を行うほか、運行区間の交通網形成計画等に沿って運行ルート・ダイヤの調整に努める。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	産交バス(株)	4 河内・伊倉バイパス經由熊本・玉名線	H28.10.1実態に即したダイヤ設定及び停留所新設を実施し利便向上を図った。また、停留所環境整備として、年2回の点検整備を実施した。	A	A	事業者及び関係市町と連携しながら、引き続き停留所の環境整備(清掃、時刻表、路線図)を行うほか、運行区間の交通網形成計画等に沿って運行ルート・ダイヤの調整に努める。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
熊本県バス対策協議会	産交バス(株)	5 植木・大倉経由 熊本・玉名線	H28.10.1玉名市街地の一部ルート変更を実施し利便向上を図った。また停留所環境整備として、年2回の点検整備を実施した。	A	A	事業者及び関係市町と連携しながら、引き続き停留所の環境整備(清掃、時刻表、路線図)を行うほか、運行区間の交通網形成計画等に沿って運行ルート・ダイヤの調整に努める。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、観光需要の取込も検討しながら、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	産交バス(株)	6 菊池経由 山鹿・大津線	H28.10.1通学・通勤等の実態に即したダイヤ設定を実施し利便向上を図った。また、停留所環境整備として、年2回の点検整備を実施した。	A	B	事業者及び関係市町と連携しながら、引き続き停留所の環境整備(清掃、時刻表、路線図)を行うほか、利用実態に合わせた運行ルート・ダイヤの調整に努める。	路線のメインターゲットである通学利用者の動向を踏まえた利便性向上を図り、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	産交バス(株)	7 手野・二江経由 本渡・富岡線	H28.10.1高校及び商業施設を経由するルートに変更し利便向上を図った。また停留所環境整備として、年2回の点検整備を実施した。	A	B	事業者及び関係市町と連携しながら、引き続き停留所の環境整備(清掃、時刻表、路線図)を行うほか、運行区間の交通網形成計画等に沿って運行ルート・ダイヤの調整に努める。	路線のメインターゲットである通学利用者の動向を踏まえた利便性向上を図り、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	産交バス(株)	8 労働庁舎経由 本渡・鬼池線	企画乗車券(1day/パス)を活用した利用促進を図った。また停留所環境整備として、年2回の点検整備を実施した。	A	A	事業者及び関係市町と連携しながら、引き続き停留所の環境整備(清掃、時刻表、路線図)を行うほか、運行区間の交通網形成計画等に沿って運行ルート・ダイヤの調整に努める。	他路線との接続強化と企画乗車券による観光需要の取込を進め、引き続き路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	産交バス(株)	9 一町田中央・久玉 経由本渡・牛深線	企画乗車券(1day/パス)を活用した利用促進を図った。また停留所環境整備として、年2回の点検整備を実施した。	A	B	事業者及び関係市町と連携しながら、引き続き停留所の環境整備(清掃、時刻表、路線図)を行うほか、運行区間の交通網形成計画等に沿って運行ルート・ダイヤの調整に努める。	他路線との接続強化と企画乗車券による観光需要の取込を進め、引き続き路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	産交バス(株)	10 桜山経由玉名 市役所・荒尾線	H28.10.1玉名市街地の一部ルート変更を実施し利便向上を図った。また停留所環境整備として、年2回の点検整備を実施した。	A	A	事業者及び関係市町と連携しながら、引き続き停留所の環境整備(清掃、時刻表、路線図)を行うほか、利用実態に合わせた運行ルート・ダイヤの調整に努める。	他モードとの接続強化と企画乗車券による観光需要の取込を進め、引き続き路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点		評価結果
熊本県バス対策協議会	産交バス(株)	11 堅志田経由松橋・砥用線	昨年度策定した「美里町地域公共交通網形成計画」にて明らかになった課題の解決に向け、具体的に再編事業の内容をまとめるための調整、検討を行い、「美里町地域公共交通再編実施計画」の策定を行った。、停留所環境整備として、年2回の点検整備を実施している。	A	B	事業者及び関係市町と連携しながら、引き続き停留所の環境整備(清掃、時刻表、路線図)を行うほか、運行区間の交通網形成計画等に沿って運行ルート・ダイヤの調整に努める。	路線のメインターゲットである通学利用者の動向を踏まえた利便性向上を図り、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。	
熊本県バス対策協議会	産交バス(株)	12 テクノ団地経由熊本・高森線	震災による道路復旧等に合わせ、ルート及び実態に即したダイヤ設定を実施した。また停留所環境整備として、年2回の点検整備を実施した。	A	A	事業者及び関係市町と連携しながら、引き続き停留所の環境整備(清掃、時刻表、路線図)や、震災による道路復旧に合わせ運行ルート・ダイヤを検討・調整を行う。	仮設住宅の利用者の動向を踏まえ、道路の復旧状況等に応じて、目的にあった運行に向けて、自治体と事業者、地域で協議の上、利用促進を図り、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。	
熊本県バス対策協議会	熊本電気鉄道(株)	1 110菊池線(化血研経由)蓮台寺～化血研～富の原～菊池温泉	持続的な路線バス網の構築を目指し、需給バランスを鑑みたダイヤの調整を実施。	A	A	現在の運行を継続しつつ、事業者及び関係市と連携しながら状況把握に努める。	路線のメインターゲットである通学利用者の動向を踏まえた利便性向上を図り、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。	
熊本県バス対策協議会	熊本電気鉄道(株)	2 256北バイパス線交通センター～北バイパス～楠団地～武蔵ヶ丘車庫	停留所環境整備と時刻表更新を実施し、利用促進に努めた。	A	B	事業者及び関係市町と連携しながら、利用促進に努めるとともに、運行ダイヤの調整(通勤・通学・買物)や、停留所の環境整備を行う。	路線のメインターゲットである通学利用者の動向を踏まえた利便性向上を図り、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。	
熊本県バス対策協議会	熊本電気鉄道(株)	3 341新地団地線(下群)熊本駅～三軒町～新地団地～下群	持続的な路線バス網の構築を目指し、需給バランスを鑑みたダイヤの調整を実施。	A	A	事業者及び関係市町と連携しながら、利用促進に努めるとともに、運行ダイヤの調整(通勤・通学・買物)や、停留所の環境整備を行う。	路線のメインターゲットである通学利用者の動向を踏まえた利便性向上を図り、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
熊本県バス対策協議会	西鉄バス大牟田(株)	1 上官線庄山系統 西鉄バス大牟田営業所～市立病院・上町～庄山	市内バス路線の利用実態の分析と市民アンケート等を実施。地域住民の低い認知度が要因となり、利用者が低迷する地区へのバス利用促進のため、市報やホームページによる広報活動等を自治体・交通事業者にて実施し、情報発信を行った。	A	B	事業者及び関係市と連携しながら、利用実態に応じて、市報やホームページ等を活用し、時刻表やチラシの配布など広報活動等に取り組むとともに、今後も関連データを収集・活用することで、より効果的な利用促進を図り、利用者拡大に努める。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	西鉄バス大牟田(株)	2 吉野線南関系統 西鉄バス大牟田営業所～南関	市内バス路線の利用実態の分析と市民アンケート等を実施した。	A	A	収支が改善している系統の要因の分析・検証結果を利用促進策に活用し、効率的・効果的な運行に努める。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	南国交通(株)	1 水俣線(佐潟口・水俣車庫線)	停留所整備、時刻表更新を実施し、利用促進に努めた。	A	B	路線再編を実施し運行の効率化を図るとともに、事業者及び関係市と連携し利用者ニーズの把握に努める。	次年度に水俣線の統合の効果検証を行い、引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
熊本県バス対策協議会	南国交通(株)	2 水俣線(出水本町・水俣車庫線)	停留所整備、時刻表更新を実施し、利用促進に努めた。	A	B	1 水俣線(佐潟口・水俣車庫線)に統合する。	引き続き地域住民の利用実態、要望等の把握に努め、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大分バス(株) 臼杵線	金池ターミナル～大道小学校前～臼杵港	「大分県地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、「大分県豊肥圏地域公共交通網形成計画」、「大分県豊肥圏地域公共交通再編実施計画」を策定し、運行効率の改善等を実施した。	A	B	昨年度策定した大分県豊肥圏地域公共交通網形成計画、再編実施計画の進捗管理を適切に行い、バス事業者、市町村等と連携し、バスの利用促進に取り組む。	再編実施計画に基づく運行の情報収集、実態把握、効果検証を行うとともに、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大分バス(株) 伯大線(急行)	金池ターミナル～大道小学校前～佐伯駅 H25～H27 車両購入1台/年 H29 車両購入2台/年	「大分県地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、「大分県豊肥圏地域公共交通網形成計画」、「大分県豊肥圏地域公共交通再編実施計画」を策定し、運行効率の改善等を実施した。	A	B	昨年度実施した「大分県南部圏地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果を踏まえ、今年度実施中の「大分県南部圏再編実施計画策定調査事業」の調査結果に基づき、利用者増や運行効率の改善等を含めた具体的な路線の再編について検討を進める。	網形成計画策定調査事業の結果を踏まえ、引き続き、事業者と関係自治体等で連携を図り、地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の再編や路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大分バス(株) 蒲戸線	大手前 ～長田 ～大浜入口	「大分県地域間幹線バス系統実態調査事業」の調査結果に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、利用状況に応じた増便や減便、系統の分割や統合等について検討した。	A	C	昨年度実施した「大分県南部圏地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果を踏まえ、今年度実施中の「大分県南部圏再編実施計画策定調査事業」の調査結果に基づき、利用者増や運行効率の改善等を含めた具体的な路線の再編について検討を進める。	網形成計画策定調査事業の結果を踏まえ、引き続き、事業者と関係自治体等で連携を図り、地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の再編や路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大分バス(株) 今市線	県庁正門前 ～今市～上原 H28車両購入2台 (今市・野津原・今畑・わさだタウンに導入)	「大分県地域間幹線バス系統実態調査事業」の調査結果に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、利用状況に応じた増便や減便、系統の分割や統合等について検討した。	A	B	今年度実施予定の「大分県中部圏網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、利用者増や運行効率の改善について検討する。	網形成計画策定調査事業の結果に基づき、事業者と関係自治体等で連携を図り、路線の再編や路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大分バス(株) 野津原線	県庁正門前 ～野津原～上原 H28車両購入2台 (今市・野津原・今畑・わさだタウンに導入)	「大分県地域間幹線バス系統実態調査事業」の調査結果に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、利用状況に応じた増便や減便、系統の分割や統合等について検討した。	A	B	今年度実施予定の「大分県中部圏網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、利用者増や運行効率の改善について検討する。	網形成計画策定調査事業の結果に基づき、事業者と関係自治体等で連携を図り、路線の再編や路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大分バス(株) 今畑線	県庁正門前 ～野津原～今畑 H28車両購入2台 (今市・野津原・今畑・わさだタウンに導入)	「大分県地域間幹線バス系統実態調査事業」の調査結果に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、利用状況に応じた増便や減便、系統の分割や統合等について検討した。	A	B	今年度実施予定の「大分県中部圏網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、利用者増や運行効率の改善について検討する。	網形成計画策定調査事業の結果に基づき、事業者と関係自治体等で連携を図り、路線の再編や路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大分バス(株) 佐賀関線	本社前 ～鶴崎～佐賀関 H24車両購入2台 H25～H27 車両購入1台/年	「大分県地域間幹線バス系統実態調査事業」の調査結果に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、利用状況に応じた増便や減便、系統の分割や統合等について検討した。	A	A	今年度実施予定の「大分県中部圏網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、利用者増や運行効率の改善について検討する。	網形成計画策定調査事業の結果に基づき、事業者と関係自治体等で連携を図り、路線の再編や路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点		評価結果
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大分バス(株) 野津原 (わさだタウン)線	県庁正門前 ～トキハわさだタウン ～上原 H28車両購入2台 (今市・野津原・今畑・わさだタウンに導入)	「大分県地域間幹線バス系統実態調査事業」の調査結果に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、利用状況に応じた増便や減便、系統の分割や統合等について検討した。	A	B	今年度実施予定の「大分県中部圏網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、利用者増や運行効率の改善について検討する。	網形成計画策定調査事業の結果に基づき、事業者と関係自治体等で連携を図り、路線の再編や路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋がっていくことが望ましい。	
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大分バス(株) 竹田線①	金池ターミナル ～大道小学校 ～道の駅おおの	「大分県地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、「大分県豊肥圏地域公共交通網形成計画」、「大分県豊肥圏地域公共交通再編実施計画」を策定し、運行効率の改善等を実施した。	A	C	昨年度策定した大分県豊肥圏地域公共交通網形成計画、再編計画の進捗管理を適切に行い、バス事業者、市町村等と連携し、バスの利用促進に取り組む。	再編実施計画に基づく運行の情報収集、実態把握、効果検証を行うとともに、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋がっていくことが望ましい。	
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大分バス(株) 大野竹田バス(株) 竹田線②	道の駅おおの ～営林署前 ～扇森稻荷神社	「大分県地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、「大分県豊肥圏地域公共交通網形成計画」、「大分県豊肥圏地域公共交通再編実施計画」を策定し、運行効率の改善等を実施した。	A	C	昨年度策定した大分県豊肥圏地域公共交通網形成計画、再編計画の進捗管理を適切に行い、バス事業者、市町村等と連携し、バスの利用促進に取り組む。	再編実施計画に基づく運行の情報収集、実態把握、効果検証を行うとともに、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋がっていくことが望ましい。	
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大野竹田バス(株) 長湯線	扇森稻荷神社 ～久住 ～直入支所	「大分県地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、「大分県豊肥圏地域公共交通網形成計画」、「大分県豊肥圏地域公共交通再編実施計画」を策定し、運行効率の改善等を実施した。	A	C	昨年度策定した大分県豊肥圏地域公共交通網形成計画、再編計画の進捗管理を適切に行い、バス事業者、市町村等と連携し、バスの利用促進に取り組む。	再編実施計画に基づく運行の情報収集、実態把握、効果検証を行うとともに、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋がっていくことが望ましい。	
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大野竹田バス(株) 臼津交通(株) 臼三線 (共同運行)	臼杵港 ～臼杵石仏 ～大野竹田バス本社	「大分県地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、「大分県豊肥圏地域公共交通網形成計画」、「大分県豊肥圏地域公共交通再編実施計画」を策定し、運行効率の改善等を実施した。	A	C	昨年度策定した大分県豊肥圏地域公共交通網形成計画、再編計画の進捗管理を適切に行い、バス事業者、市町村等と連携し、バスの利用促進に取り組む。	再編実施計画に基づく運行の情報収集、実態把握、効果検証を行うとともに、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋がっていくことが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大分交通(株) 国大線	大分駅前 ～田深～国東 H22～ 車両購入1台/年	「大分県地域間幹線バス系統実態調査事業」の調査結果に基づき、運行ルートやダイヤの見直し、利用状況に応じた増便や減便、系統の分割や統合等について検討した。	A	A	今年度実施予定の「大分県中部圏網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、利用者増や運行効率の改善について検討する。	網形成計画策定調査事業の結果に基づき、事業者と関係自治体等で連携を図り、路線の再編や路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大交北部バス(株) 中日線①	中津駅前 ～新万田、旬菜館 ～守実温泉 H22車両購入1台	「大分県地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、「大分県北部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県北部圏地域公共交通再編実施計画」を策定し、運行効率の改善等を実施した。	A	B	昨年度策定した大分県北部圏地域公共交通網形成計画、再編計画の進捗管理を適切に行い、バス事業者、市町村等と連携し、バスの利用促進に取り組む。	再編実施計画に基づく運行の情報収集、実態把握、効果検証を行うとともに、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大交北部バス(株) 中日線②	中津駅前 ～新万田 ～耶馬溪(旬菜館) H22車両購入1台	「大分県地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、「大分県北部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県北部圏地域公共交通再編実施計画」を策定し、運行効率の改善等を実施した。	A	B	昨年度策定した大分県北部圏地域公共交通網形成計画、再編計画の進捗管理を適切に行い、バス事業者、市町村等と連携し、バスの利用促進に取り組む。	再編実施計画に基づく運行の情報収集、実態把握、効果検証を行うとともに、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大交北部バス(株) 中日線③	耶馬溪(旬菜館) ～医療センター前 ～日田 H22車両購入1台	「大分県地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、「大分県北部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県北部圏地域公共交通再編実施計画」を策定し、運行効率の改善等を実施した。	A	B	昨年度策定した大分県北部圏地域公共交通網形成計画、再編計画の進捗管理を適切に行い、バス事業者、市町村等と連携し、バスの利用促進に取り組む。	再編実施計画に基づく運行の情報収集、実態把握、効果検証を行うとともに、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大交北部バス(株) 中安線	安心院 ～下田の口 ～中津駅前	「大分県地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、「大分県北部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県北部圏地域公共交通再編実施計画」を策定し、運行効率の改善等を実施した。	A	B	昨年度策定した大分県北部圏地域公共交通網形成計画、再編計画の進捗管理を適切に行い、バス事業者、市町村等と連携し、バスの利用促進に取り組む。	再編実施計画に基づく運行の情報収集、実態把握、効果検証を行うとともに、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大交北部バス(株) 中宇線	ミスターマックス宇佐店 ～中津駅前	「大分県地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、「大分県北部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県北部圏地域公共交通再編実施計画」を策定し、運行効率の改善等を実施した。	A	B	昨年度策定した大分県北部圏地域公共交通網形成計画、再編計画の進捗管理を適切に行い、バス事業者、市町村等と連携し、バスの利用促進に取り組む。	再編実施計画に基づく運行の情報収集、実態把握、効果検証を行うとともに、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大交北部バス(株) 国道中高線	豊後高田 ～宇佐駅前 ～四日市	「大分県地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、「大分県北部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県北部圏地域公共交通再編実施計画」を策定し、運行効率の改善等を実施した。	A	B	昨年度策定した大分県北部圏地域公共交通網形成計画、再編計画の進捗管理を適切に行い、バス事業者、市町村等と連携し、バスの利用促進に取り組む。	再編実施計画に基づく運行の情報収集、実態把握、効果検証を行うとともに、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
大分県地域間生活交通確保維持協議会	大交北部バス(株) 伊美線	宇佐駅前 ～竹田津港～伊美	「大分県地域公共交通網形成計画策定調査事業」の調査結果に基づき、「大分県北部圏地域公共交通網形成計画」、「大分県北部圏地域公共交通再編実施計画」を策定し、運行効率の改善等を実施した。	A	B	昨年度策定した大分県北部圏地域公共交通網形成計画、再編計画の進捗管理を適切に行い、バス事業者、市町村等と連携し、バスの利用促進に取り組む。	再編実施計画に基づく運行の情報収集、実態把握、効果検証を行うとともに、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	延岡～原町～東細島～宮ノ上系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、日向・東臼杵地域公共交通再編実施計画における路線バス塚原線及び神門線のダイヤ改正にあわせて、当該路線のダイヤ改正を実施し、乗継利便性の向上を図る。また、JR日向市駅においてもJR九州の時刻にあわせたダイヤ改正を行い、輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮交シティ～高鍋 駅～高鍋系統の運 行 平成29年度車両減 価償却費等国庫補 助金	路線バスに関するアンケート 調査等の実施により、住民 のニーズを把握した上で事 業を実施した。	A	A	引き続き事業者や自治体等の関係 者が連携して、持続可能な地域公共 交通網の構築に向けて運行ルートや 他交通網との接続等の見直しを不断 に行う。 30年度生産性向上の取組として、 「高鍋～持田団地～道の駅つの線 (申請番号3)」の施策にあわせて宮 崎市からの需要を取り込むため、都 農線の告知を宮崎～高鍋線で行い、 結果同路線の輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、 他路線、他モードとの連携を踏まえた 全体的な交通について、事業者と関 係自治体等で検討の上、引き続き地 域住民の利用実態、要望等を把握 し、路線の特性を踏まえたターゲット に合った利用促進策等により、効果 的・効率的な運行に繋げていくことが 望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	高鍋～持田団地～ 道の駅つの系統の 運行 平成29年度車両減 価償却費等国庫補 助金	路線バスに関するアンケート 調査等の実施により、住民 のニーズを把握した上で事 業を実施した。	A	A	目標は達成しているものの、利用者 自体は減少している。事業者や自治 体等の関係者が連携して、持続可能 な地域公共交通網の構築に向けて運 行ルートや他交通網との接続等の見 直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、 人口密集地域において当該路線沿線 地域の観光・特産品をラッピング車に より告知することで輸送量増加を図 る。	関連路線との乗継利便性の向上等、 他路線、他モードとの連携を踏まえた 全体的な交通について、事業者と関 係自治体等で検討の上、引き続き地 域住民の利用実態、要望等を把握 し、路線の特性を踏まえたターゲット に合った利用促進策等により、効果 的・効率的な運行に繋げていくことが 望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮交シティ～高鍋 ～木城温泉館湯ら ら系統の運行 平成29年度車両減 価償却費等国庫補 助金	路線バスに関するアンケート 調査等の実施により、住民 のニーズを把握した上で事 業を実施した。	A	B	現金利用者の減少が大きく目標達 成が出来なかった。引き続き事業者 や自治体等の関係者が連携して、持 続可能な地域公共交通網の構築に 向けて運行ルートや他交通網との接 続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、 当該路線利用者へ木城温泉湯ららで 利用可能な特典の付与を検討し、更 に利用促進策をチラシ等で告知する ことで輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、 他路線、他モードとの連携を踏まえた 全体的な交通について、事業者と関 係自治体等で検討の上、観光需要の 取込も含め、引き続き地域住民の利 用実態、要望等を把握し、路線の特 性を踏まえたターゲットに合った利用 促進策等により、効果的・効率的な運 行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮交シティ～光陽台系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	ICカードの一般客利用・定期券利用どちらも増加。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、ナイトバス(23時以降発のバス)の運行時間短縮を検討し、利便性を向上させることで輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	延岡～青雲橋・日之影町立病院～高千穂 系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	B	目標達成できなかったが、利用者数としては微増した。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、客貨混載の継続と、コミュニティバスでの当該路線告知による地元需要の取り込みや、車内での高千穂観光マップ配布による観光需要確保を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、貨客混載の継続と観光需要の取込を含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	延岡～日之影駅～高千穂系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	利用者の利便性向上のため、29年7月より、日之影町立病院への乗り入れを実施した。	A	C	熊本地震の影響で28年度より迂回が続いていたため利用者が減少している。29年7月よりは日之影町立病院経由となり利便性が向上したため、一定程度の利用者回復を見込んでいる。 30年度生産性向上の取組として、コミュニティバスでの当該路線告知による地元需要の取り込みや、車内での高千穂観光マップ配布による観光需要確保を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込を含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮交シティ～西佐土原～西都系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	B	引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、拠点施設である西都バスセンターでの西都市コミュニティバスとの接続を強化し輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮崎空港～福祉C～小林駅系統の運行	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	従来の減少率に歯止めがかかり、人員が昨年度とほぼ同水準となったため目標を達成できた。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、小林市による高等学校通学費補助(定期購入費の月5,000円を超える額)実施により通学需要の取り込みを図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、通学利用者の動向を踏まえた利便性向上を図り、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮崎～宮崎空港～鶴戸神宮～飫肥系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	昨年度と比して特に現金・回数券利用者の伸びが大きいため、観光客やインバウンドの外国人の利用増と思われる。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、コミュニティバスでの当該路線告知による地元需要の取り込みや、車内での日南観光マップ配布による観光需要確保を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込、インバウンド対応等の利便性向上を図り、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮交シティ～国富～綾系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	従来の減少率に歯止めがかかり、人員が昨年度とほぼ同水準となったため目標を達成できた。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、主な利用層である高校生を対象としたアンケート実施による意見集約・分析を実施するとともに、綾町及び国富町内中学生への高校進学前定期券説明会を実施することで通学需要の取り込みを図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、通学利用者の動向を踏まえた利便性向上を図り、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮崎駅～一の鳥居～綾～酒泉の杜系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	B	引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、主な利用層である高校生を対象としたアンケート実施による意見集約・分析を実施するとともに、綾町及び国富町内中学生への高校進学前定期券説明会を実施することで通学需要の取り込みを図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、通学利用者の動向を踏まえた利便性向上、観光需要の取込を含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮交シティ～国富～保坂系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	当該系統は28年度より経路および回数の変更を行った。この変更が目標達成に寄与したと言える。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、主な利用層である高校生を対象としたアンケート実施による意見集約・分析を実施するとともに、綾町及び国富町内中学生への高校進学前定期券説明会を実施することで通学需要の取り込みを図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、通学利用者の動向を踏まえた利便性向上を図り、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	西都城～栄町～宮崎空港～宮崎駅系統の運行	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	特に宮崎空港から宮崎市内へのICカード一般客利用が増加。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、地域住民や観光目的及びビジネス目的の利用者を取り込むため、当該路線の沿線施設を記載した利用案内リーフレットを配布し、輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込を含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮崎～花見～雀ヶ野系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	B	利用者数が微減し目標達成が出来なかった。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、旧高岡町内支線交通との連携強化(乗合タクシーにバス時刻表を設置など)、さらに市内競合路線との運行時間調整(ダイヤ改正)による利便性の向上により輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮崎～祇園台・穆佐～尾頭系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	目標は達成したものの、利用者数としては微減である。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、旧高岡町内支線交通との連携強化(乗合タクシーにバス時刻表を設置など)、さらに市内競合路線との運行時間調整(ダイヤ改正)による利便性の向上により輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮崎～祇園台・穆佐・高岡温泉～尾頭系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	B	<p>中心市街地である宮崎市内での高齢者利用が減少したため目標達成が出来なかった。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。</p> <p>30年度生産性向上の取組として、旧高岡町内支線交通との連携強化(乗合タクシーにバス時刻表を設置など)、さらに市内競合路線との運行時間調整(ダイヤ改正)による利便性の向上により輸送量の増加を図る。</p>	<p>関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。</p>
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮崎～正手～七野系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民の認知度や新たな需要の把握に努め、関係者で情報を共有した。	A	A	<p>ICカードの一般客・通勤定期利用が増加したため目標達成となった。利用者が増加した要因としては、中心市街地である宮崎市内の利用が増加したためと思われる。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。</p> <p>30年度生産性向上の取組として、旧田野町内広報紙を活用した路線バスPRの実施により輸送量の増加を図る。</p>	<p>関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。</p>
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	宮崎～正手～合又・田野総合運動公園系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	B	<p>中心市街地である宮崎市内の利用が増加したため全体の利用者は微増したが、過去ほどの上昇率でなかったため目標達成が出来なかった。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。</p> <p>30年度生産性向上の取組として、旧田野町内広報紙を活用した路線バスPRの実施により輸送量の増加を図る。</p>	<p>関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。</p>

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	西都城～イオンモール～小林系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	利用者の利便性向上のため、29年9月より、小林駅への乗り入れを実施した。	A	B	主に通勤・通学利用者が減少していたため目標達成できなかった。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、小林駅に集約される交通網との連携強化のため当該路線の沿線施設を記載した利用案内リーフレットを配布し、輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	イオンモール都城～山田～熊野神社前系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、温泉施設と連携し、当該路線の沿線施設を記載した利用案内リーフレットを配布することで、輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込を含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	イオン都城～妻ヶ丘・イオンモール都城・都城駅～川原谷系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	B	主として高齢者利用の減少により、目標が達成できなかった。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、30年4月に沿線上に移転する専門学校の通学需要を取り込むことで、輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、新たな通学需要の取り込みを含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	(特急)西都城～高速道・宮崎空港～宮崎駅 系統の運行	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	目標は達成したが利用者は微減となった。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、地域住民や観光目的及びビジネス目的の利用者を取り込むため、当該路線の沿線施設を記載した利用案内リーフレットを配布し、輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込を含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	南延岡～浦城港～宮野浦系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	B	沿線地域の人口減少や高齢化等の影響により利用者の減少が特に大きい。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、ラッピングバスの運行によるPRとともに、沿線の飲食店と連携した路線のPR(ポスター、のぼり等)やスタンプラリーの実施により輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込を含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	イオンタウン日向～塚原系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	B	沿線地域の人口減少や高齢化等の影響により利用者の減少が特に大きい。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、日向・東臼杵地域公共交通再編実施計画に基づき、長大路線である路線バス塚原線を道の駅とうごうで分割することにより高齢者の乗車負担の軽減を図り、ダイヤ見直しによるコミュニティバスとの接続強化により利用者の利便性向上に努め、輸送量の増加を図る。加えて客貨混載も継続する。	再編実施計画より利用者のニーズに合った運行の効率化が図られ、輸送人員の増加、収支率の改善により、地域公共交通の確保・維持に繋がることを期待する。また、貨客混載の継続と再編結果の効果検証のための情報収集、利用促進のための情報発信等により更なる効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	イオンタウン日向～温泉～神門(浜子橋)系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、日向・東臼杵地域公共交通再編実施計画に基づき、長大路線である路線バス神門線を道の駅とうごうで分割することにより高齢者の乗車負担の軽減を図り、ダイヤ見直しによるコミュニティバスとの接続強化により利用者の利便性向上に努め、輸送量の増加を図る。	再編実施計画より利用者のニーズに合った運行の効率化が図られ、輸送人員の増加、収支率の改善により、地域公共交通の確保・維持に繋がることを期待する。また、再編結果の効果検証のための情報収集、利用促進のための情報発信等により更なる効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	イオンタウン日向～一ヶ丘・大福良団地～レーヨン系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	当該系統は28年度より経路および回数の変更を行った。この変更が目標達成に寄与したと言える。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、日向・東臼杵地域公共交通再編実施計画における路線バス塚原線及び神門線のダイヤ改正にあわせて、当該路線のダイヤ改正を実施し、乗継利便性の向上を図る。また、JR日向市駅においてもJR九州の時刻にあわせたダイヤ改正を行い、輸送量の増加を図る。	再編実施計画より利用者のニーズに合った運行の効率化が図られ、輸送人員の増加、収支率の改善により、地域公共交通の確保・維持に繋がることを期待する。また、再編結果の効果検証のための情報収集、利用促進のための情報発信等により更なる効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	飫肥～油津～夫婦浦～幸島入口系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	B	引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。 30年度生産性向上の取組として、30年度生産性向上の取組案として、コミュニティバスでの当該路線告知による地元需要の取り込みや、車内での日南・串間観光マップ配布による観光需要確保を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込を含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	西都～佐土原駅～ 佐土原高校系統の 運行 平成29年度車両減 価償却費等国庫補 助金	乗り入れを実施している佐土原高校に協力を要請し、通学定期券の販売促進活動を行った上で事業を実施した。	A	B	通学利用の伸びが過去ほどなかったため目標達成できなかったが、全体の利用は微増となっている。引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。30年度生産性向上の取組として、主な利用層である高校生を対象としたアンケート実施による意見集約・分析を実施するとともに、沿線高校への進学前定期券説明会を実施することによって通学需要の取り込みを図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、通学需要の取込を含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	宮崎交通(株)	小林～飯野・えびの市役所～京町系統の運行 平成29年度車両減価償却費等国庫補助金	利用者の利便性向上のため、29年8月より、小林駅への乗り入れを実施した。	A	A	引き続き事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行ルートや他交通網との接続等の見直しを不断に行う。30年度生産性向上の取組として、えびの市が実施する高齢者向け定期券購入費補助により高齢者需要の取り込みを図るとともに、「路線バスに親しむ日」の2日間、一定要件乗車の小中学生の運賃無料化によって広く路線バスをPRすることで輸送量の増加を図る。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者の利用喚起を含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
宮崎県バス対策協議会	三州自動車(株)	都城～岩川～野方～県民健康プラザ～鹿屋系統の運行	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	事業者や自治体等の関係者が連携して、持続可能な地域公共交通網の構築に向けて運行時刻等の見直しを適宜行う。また、H30年度は生産性向上の取組として、都城駅への乗り入れを行うことで、利便性の向上に努める。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宮崎県バス対策協議会	三州自動車(株)	志布志～稚児松～松山駅～岩川～中央通り～都城系統の運行	路線バスに関するアンケート調査等の実施により、住民のニーズを把握した上で事業を実施した。	A	A	この路線については、沿線人口の減少や通学利用者の減少により利用者の減少に歯止めがかからないため、学校との連携強化により、利用しやすいダイヤ調整を行うことで利用促進を図る。 また、H30年度は生産性向上の施策として、志布志駅前のロータリー整備に伴う、駅への乗り入れを行うことで、利便性の向上に努める。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線、他モードとの連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、通学需要の取り込みを含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島～犬迫～伊集院	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者の利用喚起を含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島～大坂～白川～加世田	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者や通学者の利用喚起を含め、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島～川辺～枕崎(特急)	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島～大門口～知覧	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き地域住民の利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	指宿～警察署前～今和泉～池田～唐船峽～開聞駅前	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光客の利便性向上を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	なのはな館～指宿～利永～唐船峽～開聞口～頼娃～大川～東大川	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島～指宿～ホテル～山川棧橋(普通)	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	加世田～大浦～野間池	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者の利用喚起を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	加世田～薩南病院～大浦～野間池	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者の利用喚起を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	加世田～白川～土卒～加世田(循環線)	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者の利用喚起を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	加世田～高倉～川辺～知覧	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者の利用喚起を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	加世田～舞敷野～川辺～知覧	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者の利用喚起を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	知覧～霜出～垂水～枕崎	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者の利用喚起を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島～中央駅前～新屋敷～川辺高前～枕崎	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者の利用喚起を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	枕崎～坊～泊～久志～今岳	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者、通学者の利用喚起を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	枕崎～坊～泊～清原～枕崎(循環線)	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者、通学者の利用喚起を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	伊集院高校～加世田～田ノ野～枕崎	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者、通学者の利用喚起を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	指宿いわさきホテル～指宿～喜入駅前～知覧～武家屋敷入口	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	加世田～津貫～枕崎	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者、通学者の利用喚起を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	伊集院高校～伊作～加世田	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者、通学者の利用喚起を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	伊集院～小野～伊作	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	東大川～ウェルフェア九州病院～枕崎	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島～中央駅前～知覧～特攻観音入口	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込も含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島駅前～犬迫～伊集院	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	山川～港～役場～漁港～山川駅前～長崎鼻～開聞駅前	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込も含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島～鹿児島中央駅～谷山駅前～伊作～加世田(急行)	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、高齢者、通学者の利用喚起を含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	潟山～指宿駅～いわさきホテル～山川駅～浜尻ヶ水～長崎鼻～開聞駅前	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込も含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	道の駅喜入～小田代入口～堤之原～特攻観音入口～知覧～武家屋敷入口	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込も含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	知覧～永里～種子尾～青戸小前～只角	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、観光需要の取込も含め、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	伊敷ニュータウン東～隼人駅・日当山・医療センター～国分営業所	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	伊敷ニュータウン東～自衛隊・国分～国分営業所	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	伊敷ニュータウン東～天文館・重富～始良ニュータウン車庫	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	霧島いわさきホテル～嘉例川・牧園アリーナ～鹿児島空港	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	国分駅～霧島神宮駅～霧島いわさきホテル	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	錦江町～野田・串木野(特急)～川内営業所	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島駅～野田・島平～川内営業所	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島駅～伊集院・島平～川内営業所	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島駅～伊集院・島平～串木野	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島駅～郡山・常磐～岳	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	鹿児島駅～郡山・里岳～岳	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	湯之元～江口蓬莱館～日置	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	串木野駅～本町～野下	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	川内営業所～市比野～入来駅	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	川内営業所～中郷・五社～宮之城車庫	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	国分市役所～日当山・妙見～霧島いわさきホテル	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	川内営業所～済生会・草良～羽島車庫	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	国分営業所～見次・日当山・医療センター～国分営業所	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	加治木本町～野久美田・姫城温泉・医療センター～国分営業所	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	鹿児島交通(株)	川内営業所～市民病院・福祉センター・市比野～入来駅	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	都城～岩川～野方～県民健康プラザ～鹿屋	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	岩川～尾野見～志布志	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、通学者の需要を踏まえ、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	鹿屋～高山～内之浦	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	鹿屋～宮下～高山	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	鹿屋～平原～吾平～高山	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	鹿屋～大隅湖～百引	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	鹿屋～大根占～根占港～根占	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	B	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	垂水～垂水港～鹿屋～志布志(普通)	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	垂水港～垂水中央病院～桜島口～前崎～文学碑前～桜島港	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	桜島口～文学碑前～桜島港	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	垂水中央病院～垂水～垂水港～鹿屋～あすばる大崎～志布志	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	鹿児島中央駅～加治木団地～牧之原	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	志布志～岩川～牧之原～検校橋～旭通～国分駅～鹿児島空港	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	三州自動車(株)	志布志～稚児松～松山駅～岩川～中央通り～都城	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	種子島・屋久島交通(株)	永田～上屋久町役場～いわさきホテル	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	種子島・屋久島交通(株)	宮之浦港～安房港～いわさきホテル～栗生橋	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	種子島・屋久島交通(株)	宮之浦港～安房～いわさきホテル～栗生橋	他路線との乗換および接続停留所において接続時間の見直しや時刻変更を一部実施。	A	A	生産性の向上の観点から、路線毎の運行の合理化に取り組み運行費用の削減を行うと同時に、利用促進の観点からも行政と協議を行い路線毎の利用に合わせた改善を行う。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	南国交通(株)	鹿児島中央駅～重富～楠田	定時性確保に向けたダイヤ改正を実施するとともに、停留所標識・時刻表の更新を行い利用促進に努めた。	A	A	自治体と連携し地域住民のニーズに合った路線再編を実施し利用促進を図る。また、停留所環境の整備を引き続き実施する。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋がっていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	南国交通(株)	佐潟口～出水～水俣車庫	定時性確保に向けたダイヤ改正を実施するとともに、停留所標識・時刻表の更新を行い利用促進に努めた。	A	B	自治体と連携し地域住民のニーズに合った路線再編を実施し利用促進を図る。また、停留所環境の整備を引き続き実施する。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋がっていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	南国交通(株)	出水本町～米ノ津新町～水俣車庫	定時性確保に向けたダイヤ改正を実施するとともに、停留所標識・時刻表の更新を行い利用促進に努めた。	A	B	路線再編を実施し運行の効率化を図る。本年度をもって当該事業を完了する。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋がっていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	南国交通(株)	隈之城車庫～西方駅前～阿久根新港	定時性確保に向けたダイヤ改正を実施するとともに、停留所標識・時刻表の更新を行い利用促進に努めた。	A	B	自治体と連携し地域住民のニーズに合った路線再編を実施し利用促進を図る。また、停留所環境の整備を引き続き実施する。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、通学需要をメインに引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋がっていくことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	南国交通(株)	大口～本城～栗野駅前	定時性確保に向けたダイヤ改正を実施するとともに、停留所標識・時刻表の更新を行い利用促進に努めた。	A	A	自治体と連携し地域住民のニーズに合った路線再編を実施し利用促進を図る。また、停留所環境の整備を引き続き実施する。	沿線の観光資源を活用した観光施設とのタイアップや効果的な情報発信等を行うなど、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島県バス対策協議会	南国交通(株)	大口～針持～宮之城	定時性確保に向けたダイヤ改正を実施するとともに、停留所標識・時刻表の更新を行い利用促進に努めた。	A	A	自治体と連携し地域住民のニーズに合った路線再編を実施し利用促進を図る。また、停留所環境の整備を引き続き実施する。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。	
鹿児島県バス対策協議会	南国交通(株)	加治木港～下有川～溝辺十文字	定時性確保に向けたダイヤ改正を実施するとともに、停留所標識・時刻表の更新を行い利用促進に努めた。	A	A	自治体と連携し地域住民のニーズに合った路線再編を実施し利用促進を図る。また、停留所環境の整備を引き続き実施する。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。	
鹿児島県バス対策協議会	南国交通(株)	阿久根市役所～出水・宮之城～鹿児島空港	定時性確保に向けたダイヤ改正を実施するとともに、停留所標識・時刻表の更新を行い利用促進に努めた。	A	B	自治体と連携し地域住民のニーズに合った路線再編を実施し利用促進を図る。また、停留所環境の整備を引き続き実施する。	関連路線との乗継利便性の向上等、他路線との連携を踏まえた全体的な交通について、事業者と関係自治体等で検討の上、引き続き利用実態、要望等を把握し、路線の特性を踏まえたターゲットに合った利用促進策等により、効果的・効率的な運行に繋げていくことが望ましい。	
鹿児島県バス対策協議会	(株)しまバス	奥又～秋名～ビックII	概ね事業の目標は達せられた。	A	B	空港線が伸びているので観光客の利用を促進し、本系統でも増加につなげる。	沿線の観光資源を活用した観光施設とのタイアップや効果的な情報発信等を行うなど、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。	
鹿児島県バス対策協議会	(株)しまバス	与義又～赤木名～和野～空港～佐仁	概ね事業の目標は達せられた。	A	A	空港線が伸びているので観光客の利用を促進し、本系統でも増加につなげる。	沿線の観光資源を活用した観光施設とのタイアップや効果的な情報発信等を行うなど、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。	

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対策協議会	(株)しまバス	与義又～根瀬部～今里	概ね事業の目標は達せられた。	A	B	空港線が伸びているので観光客の利用を促進し、本系統でも増加につなげる。	沿線の観光資源を活用した観光施設とのタイアップや効果的な情報発信等を行うなど、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	(株)しまバス	ウエストコート～西仲間～海の駅	概ね事業の目標は達せられた。	A	B	空港線が伸びているので観光客の利用を促進し、本系統でも増加につなげる。	沿線の観光資源を活用した観光施設とのタイアップや効果的な情報発信等を行うなど、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	(株)しまバス	名瀬～奄美パーク・用安～空港	概ね事業の目標は達せられたが、更なる需要の掘り起こしが必要と思われる。	A	A	空港線が伸びているので観光客の利用を促進し、本系統でも増加につなげる。	沿線の観光資源を活用した観光施設とのタイアップや効果的な情報発信等を行うなど、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	JR九州バス(株)	鹿児島駅～鹿児島中央～薩摩郡山～宮之城	収支改善のため、低床車導入による修繕費、燃料費等の経費節減に努めたほか、エコ運転の推進及び地域イベントへの参加等による利用促進にも取り組んだ。	A	B	お客様の利便性を考慮した系統と時刻の見直しによる効率的な運行を目指し、収支改善に努めていく。また、利用促進のPRを行う等沿線自治体と連携してバスのご利用を促す利用促進活動に取り組む。	沿線の観光資源を活用した観光施設とのタイアップや効果的な情報発信等を行うなど、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。
鹿児島県バス対策協議会	JR九州バス(株)	鹿児島駅～川田・岩戸口～郡山	収支改善のため、低床車導入による修繕費、燃料費等の経費節減に努めたほか、エコ運転の推進及び地域イベントへの参加等による利用促進にも取り組んだ。	A	B	お客様の利便性を考慮した系統と時刻の見直しによる効率的な運行を目指し、収支改善に努めていく。また、利用促進のPRを行う等沿線自治体と連携してバスのご利用を促す利用促進活動に取り組む。	沿線の観光資源を活用した観光施設とのタイアップや効果的な情報発信等を行うなど、観光需要の取込により、輸送人員の増加に繋がるよう、効果的な取組を行うことが望ましい。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状	⑥事業の今後の改善点	
鹿児島県バス対 策協議会	宮崎交通(株)	イオン都城～妻ヶ 丘・イオンモールミエル・ 都城駅～川原谷	通勤・通学や生活の足として 便数の維持に取り組んだ。	A	B	運行事業者や自治体等の関係者の 連携のもと、運行ルート・ダイヤの見 直しや他の公共交通網との接続強化 を検討する。 また幹線生産性向上の取組として30 年4月に沿線上に移転する専門学校の 通学需要の取り込みを予定してい る。	関連路線との乗継利便性の向上等、 他路線、他モードとの連携を踏まえた 全体的な交通について、事業者と関 係自治体等で検討の上、新たな通学 需要の取り込みを含め、引き続き地 域住民の利用実態、要望等を把握 し、路線の特性を踏まえたターゲット に合った利用促進策等により、効果 的・効率的な運行に繋げていくことが 望ましい。